

科目名	表現文化論		
担当教員名	小林 実、加藤 暁子、赤間 恵都子、星野 祐子 他		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

講義形式で行うオムニバス授業です。

科目の概要

日本文化に関する理解を深めるためには、外国文化や異文化交流についての知識をもつことが大切です。グローバリズム、異文化理解、各地域文化(東アジア、アメリカ、イギリス、ドイツ、ユーラシア)、日本の伝統文化について、毎回異なる講師が講義します。

学修目標(=到達目標)

国際社会における基礎知識を身につけることを学修目標とします。

内容	
1	異文化と仕事
2	脳内世界地図
3	映画から学ぶ異文化
4	就労活動について
5	世界のファッション
6	EUの多文化共生
7	日本文化について
8	日本の伝統文化(1)
9	日本の伝統文化(2)
10	日本の伝統文化(3)
11	ロシアの歴史と文化
12	ドイツの歴史と文化
13	東アジアの伝承文化
14	文化とデザイン
15	まとめ

評価

毎回提出のリアクションペーパーの内容(50点)、学期末試験(50点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】特に必要ない。

【事後学修】毎回の授業内容を改めてノートにまとめなおすこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しません。毎回授業時にプリントを配布します。

【推薦書】特に指定ませんが、授業内で紹介されることもあります。

【参考図書】特に指定ませんが、授業内で紹介されることもあります。

科目名	表現文化論		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	表現文化論		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	芸術文化論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： 今道友信氏は『美について』のなかで、旧字体の「藝」の意味は「人間の精神に良い種を植えつること」だといっています。古代ギリシャ・ローマ以来、ヨーロッパにはさまざまな芸論があります。また、日本にもいろいろなジャンルにおいて芸術論が書かれています。比較芸術論・美術史・美学・芸道論・詩学・建築論、その他芸術にかかわる視点から、広汎に学んでみましょう。

科目の概要： 世界と日本の芸術論や芸術作品について、比較文化的な視野から学んでいきます。西洋の芸術論はアリストテレスの『詩学』をその始祖とし、以後の芸術学や美学は哲学的方法と科学的方法等がありますが、それらは体系的です。日本の芸術論はより実作に即して、片言隻語的ですが、そこになお珠玉のように光る芸術の奥義を伝えていて、興味深いものがあります。

学修目標： 第一に西洋の古代から始まる芸術論の系譜をたどりましょう。また、西洋美術史をゲストに概説していただき、ワークショップをします。第二に日本の芸道論を見ていきます。能楽の『花伝書』『申楽談義』などから『作庭記』そして和歌の論書、俳論書その他をたどります。第三に、生活の中の芸術を楽しむ方法として、美術館を紹介します。現代芸術のありようをビジュアルに眺めながら、比較文化史的に考えてみます。最後に、近未来界に広がる現代芸術や文化のあり様を予測してみましょう。

内容

- 1【序 芸術とは何か】[芸]の意義
- 2【西洋の芸術論】アリストテレス『詩学』から
中世から近代へ
- 3【西洋美術史】 古代～中世
- 4 近代～未来へ
- 5 ワークショップ
- 6【日本の芸術論】歌論書・連歌論書
- 7 能楽論・茶道論・その他
- 8【ファッション】20世紀とココシャネル
- 9 20世紀とイヴサンローラン
- 10【自然】モンゴメリーとカナダ・プリンスエドワード島
- 11【花のイメージ】水仙の表象
- 12 百合の表象
- 13【視覚障害者の芸術】ヘレンケラーの功績と辻井伸行氏の音楽
- 14【近未来の世界芸術・文化】----- 国際HAIKUの流行
- 15 まとめ【課外授業：美術館の見学】

* 話題の美術展へ出かける予定です。

評価

平常点30%、レポート（または創作）70% などの評価により、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】日本や世界の芸術家の作品集や、内外の芸術史関連の書物を調べておきましょう。

【事後学修】美術館見学をしたり、TVの芸術番組を見たり、図録や藝術全集を鑑賞しましょう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業の時に、プリントを配布します。

【推薦書】今道友信著『美について』（講談社現代新書324）

高階秀爾著『日本美術を見る眼 - 東と西の出会い -』（岩波現代文庫・2009）

【参考図書】川勝平太著『美の文明をつくる』（ちくま新書・2002年）

九鬼周造著『「いき」の構造』（岩波文庫・1979年）

その他

科目名	ファッション文化		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、文化デザイン領域に位置する選択科目です。人の第一印象は、身だしなみが大きく左右します。女性だから楽しめるオシャレ、女性が美しく見える服装、顔の近くに置くものの色の使い方だけでも、人の印象は変わるということを知るだけでも楽しいものです。今ではあまり考えなくなった

TPOを見直し、社会にできる準備に役立てましょう。

科目の概要

女性としての知っておきたいファッションについてを文化的に、深すぎず、女性としての常識的な知識を身につける学びをします。

学修目標

人が衣服をまとった歴史をはじめ、繊維やパターンなど、被服全般について学修します。「服装」や「衣服」について全般的に学び、これから始まる就職活動にも役立つこともねらいます。そして、仕事に就く女性の身だしなみ、洗礼された都会の女性の美しさ、妻として母親として知っておきたい衣服の知識などを学修します。また、実際に街に出て行き社会科見学も予定しています。眼と肌で都会の雰囲気を感じることにより、気持ちが活動的になり、就職活動への恐怖心などの“壁”を一枚でも取り払えることを望みます。

学外実習として、都内の企業がある地域に行きファッション文化を見学します。

内容	
1	ファッション(装い)全般について
2	カラーコーディネート(1)印象
3	カラーコーディネート(2)顔映り
4	正しく装うこととは。その大切さについて(TPOと姿勢など)
5	織物のあれこれ
6	日本の染色技術
7	繊維と被服整理
8	足の科学 骨格について 靴の歴史と種類と選び方
9	ファッションの歴史(西洋服飾史1)
10	ファッションの歴史(西洋服飾史2)
11	ファッションの歴史(日本服飾史1)
12	ファッションの歴史(日本服飾史2)
13	都心のファッション研究(1) 表参道・原宿・六本木・銀座のOLから学ぶ
14	都心のファッション研究(2) 丸の内・大手町・霞が関・新橋・品川・汐留・お台場から学ぶ
15	まとめ

評価

出欠を兼ねて、毎回行う小レポートを提出していただきます。70点(5点×14回)、最後に行うテストまたはレポート30点。総合得点が60点以上を合格点とします。

授業外学習

【事前予習】各授業ごとに次の授業内容について予告をするので、テーマの内容を調べてくる。

【事後学修】授業中にメモをしたパワーポイントの資料を次回までに見やすくまとめてくる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各回ごとに、数冊のテキストを使用するため、教材はプリントを配布します。

参考図書は、その都度紹介します。

科目名	日本の宗教文化		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化・思想に関する専門選択科目の講義の一つです。民俗文化論、精神文化論、日本文学特講などに関連します。現在、「モノケ」という言葉は、妖怪全般をさすものとしてよく使われていますが、日本の古代においては、神霊や精霊、妖怪、魔物などはひっくるめて「モノ」と呼ばれていました。万葉集では「鬼」という漢字を「モノ」と訓じてもいます。こうした超自然的存在はときに「タタリ」というかたちで、人間に災厄をもたらしたり、霊異を体験させたりしました。古代の人々はそれを畏怖し、占いや祭祀などのさまざまな手段で交渉してきたのです。この授業では古代の神話・説話・史書などのなかにあらわれたそうした交渉を読み解き、「モノ」たちとともに生きた人々の精神構造をさぐります。

日本の古代における「もの」「もののけ」の諸相を把握し、それらを生み出した人々の精神構造を理解することが学修の目標です。

内容

- (1) もののけをめぐる文化現象
- (2) 神と妖怪
- (3) 古代の神霊観 タマ・カミ・モノ
- (4) ト占・託宣・夢 神霊世界との交信
- (5) オオモノヌシ 神婚幻想と巫女
- (6) 崇りなすアマテラス
- (7) 病気と鬼の気
- (8) 死者の霊と語り
- (9) 亀トと怪異
- (10) 自然開発と崇り
- (11) 王権・神祇官・陰陽寮
- (12) 『今昔物語集』の霊鬼たち
- (13) 鬼に化す女たち
- (14) いざなぎ流 民俗社会の占いと祈禱
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験(またはレポート) 7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。
合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

授業外学習

【事前予習】各回の授業に関わるキーワードや事項を調べておく。

【事後学修】講義ノートやプリントをもとに授業を振り返り、内容を整理し、分からないことは調べておく。興味や関心をもったことは発展的に調べたり、関連する書物を読むなどする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考文献：小松和彦『憑霊信仰論』（講談社学術文庫）、馬場あき子『鬼の研究』（ちくま文庫）、西郷信綱『古代人と夢』（平凡社ライブラリー）、斎藤英喜『いざなぎ流 祭文と儀礼』（法蔵館）、岡部隆志ほか『シャーマニズムの文化学』（森話社）など。その他参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	演劇論		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題を解明することは、日本の文化、風土、宗教観、国民性などを理解し、私たちのルーツを探ることにもなります。この授業では、能や狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃などの伝統芸能を取り上げ、現代の演劇にどう継承されているかを明らかにし、外国の演劇との比較により日本の演劇の独自性についても検証します。

特に注目するのは歌舞伎です。現代のメディアと同様に社会現象を敏感に反映し、小説や浮世絵、落語等に影響を与えた歌舞伎の検証は、大衆演劇の意義や鑑賞者が演劇に求めた要素の解明の手がかりになります。また神の祭りを起源とするため、信仰と演劇という不可分の問題も検討できると考えます。

科目の概要

能や人形浄瑠璃、海外の演劇との比較を交え歌舞伎の本質を明らかにします。宝塚、ミュージカル、現代の舞台芸術、アニメーションも取り上げエンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

学修目標(=到達目標)

- (1)日本の伝統芸能や演劇、世界の演劇についての基礎知識を学びます。文献調査などのレクチャーを経て、特に興味を持った演劇については各自が検証し、レポートとして提出します。
- (2)絵画資料を通じて歌舞伎の本質を探ります。浮世絵を持参する機会を設け絵画の造詣も深めます。
- (3)ビデオ観賞を通じて役者の演技、演出、舞台装置等の細かな部分に関しても理解を深めます。

内容	
1	ガイダンス・日本の伝統芸能の流れ
2	能・狂言の歴史と魅力
3	能から歌舞伎へ 「石橋」と「連獅子」
4	歌舞伎の舞台構造を知る～絵画資料による検証・現代のコクーン歌舞伎まで～
5	市川團十郎と江戸の信仰
6	歌舞伎と人形浄瑠璃 「義経千本桜」の狐忠信
7	歌舞伎と話芸 「仮名手本忠臣蔵」と落語
8	歌舞伎と広告 「外郎売」「助六由縁江戸桜」など
9	歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演
10	歌舞伎と海外の演劇(1)京劇(中国)・パンソリ(韓国)等アジアの芸能
11	歌舞伎と海外の演劇(2)シェイクスピアと蜷川幸雄
12	海外の演劇 「ロミオとジュリエット」・ミュージカル「ウエストサイド物語」
13	現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台
14	現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」「かぐや姫の物語」と日本文化
15	まとめ 伝統芸能の舞台と現代舞台芸術の比較

評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】次の授業で取り上げる演劇や具体的な演目について、辞書等で各自調べておくこと。特に歌舞伎の演目については、授業内で詳細にあらすじを述べる時間がとれないこともあるので、必ず事前に予習しておくこと。予習の際に有用な文献については、授業中に指示します。

【事後学修】授業内容の不明な点は、次回の授業で質問するかコメント用紙に質問を記載して下さい。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】開講後に指示。授業時には毎回プリントを配布します。

【参考図書】渡辺保著『江戸演劇史（上下）』講談社、2009年

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目では、映像を見るだけでなく、デジタルカメラやビデオカメラで自ら映像を撮影します。撮ることを通じて映像に対する理解を深め、あわせて撮影技術の向上もはかります。

「映像論」の前半の講義と関係がありますが、「映像表現法」は、実習を通じて学習します。

科目の概要

写真はフィルムからデジタルカメラの時代に、ビデオはハイビジョンの時代となり、ハイビジョン対応の家庭用ビデオカメラが市場に出回っています。

これらのカメラは映像表現の手段として申し分のないものです。

最近めざましい進歩をとげているデジタルの撮影機材のしくみと特性を理解し、映像表現のための便利なツールとして、使いこなそうとするものです。

学修目標

以下の4点です。

- 1、写真撮影について理解し、デジタルカメラを用いて表現する。
- 2、写真（静止画）の特長とビデオ（動画）の特長の違いを理解する。
- 3、ビデオ撮影を実践することにより、その映像表現について体験し、理解を深める。
- 4、ビデオ映像は編集を前提として撮影されていることを理解する。

内容	
1	何を、どんなカメラで撮るのか
2	写真1 まず撮ってみよう
3	写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4	写真3 画角（写角）、構図、光の質と方向
5	写真4 テーマを決めて撮る
6	写真5 デジタルで保存する
7	写真の良さ。ビデオの良さ。
8	ビデオ撮影1 ビデオカメラのしくみを理解する
9	ビデオ撮影2 長さ（時間）の要素
10	ビデオ撮影3 音を効果的に使う
11	ビデオ撮影4 アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12	ビデオ撮影5 被写体が動く。カメラとVTRが動く
13	編集の役割
14	レポートについて
15	まとめ

評価

授業への参加度 40%、作品 30%、レポート 30%とし、総合評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】作品作りのための下調べ

【事後学修】撮影した作品の検討

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布します。

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目では、映像を見るだけでなく、デジタルカメラやビデオカメラで自ら映像を撮影します。

撮ることを通じて映像に対する理解を深め、あわせて撮影技術の向上もはかります。

「映像論」の前半の講義と関係がありますが、「映像表現法」は、実習を通じて学習します。

科目の概要

写真はフィルムからデジタルカメラの時代に、ビデオはハイビジョンの時代となり、ハイビジョン対応の家庭用ビデオカメラが市場に出回っています。

これらのカメラは映像表現の手段として申し分のないものです。

最近めざましい進歩をとげているデジタルの撮影機材のしくみと特性を理解し、映像表現のための便利なツールとして、使いこなそうとするものです。

学修目標

以下の4点です。

- 1、写真撮影について理解し、デジタルカメラを用いて表現する。
- 2、写真(静止画)の特長とビデオ(動画)の特長の違いを理解する。
- 3、ビデオ撮影を実践することにより、その映像表現について体験し、理解を深める。
- 4、ビデオ映像は編集を前提として撮影されていることを理解する。

内容	
1	何を、どんなカメラで撮るのか
2	写真1 まず撮ってみよう
3	写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4	写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5	写真4 テーマを決めて撮る
6	写真5 デジタルで保存する
7	写真の良さ。ビデオの良さ。
8	ビデオ撮影1 ビデオカメラのしくみを理解する
9	ビデオ撮影2 長さ(時間)の要素
10	ビデオ撮影3 音を効果的に使う
11	ビデオ撮影4 アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12	ビデオ撮影5 被写体が動く。カメラとVTRが動く
13	編集の役割
14	レポートについて
15	まとめ

評価

授業への参加度 40%、作品 30%、レポート 30%とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】作品作りのための下調べ

【事後学修】撮影した作品の検討

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布します。

科目名	大衆文化論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

パワーポイントを用いた講義形式です。

急速に外来文化が入り、社会の価値観が変わっていった明治以後の日本では、西洋化することに、それなりに器用に順応できたエリートよりも、むしろ時代の変化のスピードにとり残されてきた人々のほうが、圧倒的に多かったのが実情です。しかしそんななかから、いや、むしろそんななかからこそ、身についた感性にしたがった、独特の文化が、数多く生み出されてきました。本講座は、そうした過去から現在にいたるユニークな庶民文化の諸相をとりあげながら、そこに横たわる根源的な問題を見つめ直すことで、「エリート文化」や「大衆文化」といった既成の枠組を越えた地平から、これからの「人間文化」のあり方について、みなさんに考えてもらうことを目的としています。

身近な文化について、時代性・地域性など多角的に考察できるようになること。

内容

1	「らしさ」の文化論
2	ダンディの戦略
3	過去と戯れる人々
4	エキゾチック・ジャパン
5	いつもそこにあったという感覚
6	ピエール・カルダンと未来の廃墟
7	俗謡の聴き方
8	夜の領域
9	好物はスキャンダル
10	ヤンキーはどこへ消えた？
11	ソースの話
12	ダーチャの話
13	ユーラシアの話
14	内側の細部
15	総括

評価

各自がどれだけ自分の頭で考えているかということの評価します。評価点数は、毎回授業時に提出するリアクション・ペーパー(50点)、学期末レポート(50点)。合計60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】特に予習は必要ない。

【事後学修】授業で学んだことを、ノートに整理し直すこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	民俗文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化に関する専門選択科目の講義の一つです。比較民俗論、日本の宗教文化と関連します。

私たちは最先端の高度情報化社会を生きていますが、一方でお正月には餅を食べ、初詣でに行き、高層ビルを建てる際には地鎮祭をするなど、昔からやっているからと何気なく行っていることがたくさんあります。このように繰り返される伝統的な生活習慣や意識を探るのが 民俗学 といつてよいでしょう。したがって民俗学を学ぶことは私たち自身のありかたを見つめ直すことでもあります。この授業では、総論として日本民俗学の理論と方法のおおよそを学び、さらにその成立と展開について、日本民俗学の生みの親柳田国男の生涯と思想の問題と関連させながら考えて行きます。

民俗学の学問としての基礎として、その対象・方法・目的を理解することが学修目標です。

内容

- (1) 身近にある民俗・民俗学の魅力
- (2) 民俗学的発想について
- (3) 民俗 という語
- (4) 民俗 の中身・範囲
- (5) 常民 と 常民性
- (6) フィールドワークとデスクワーク
- (7) 重出立証法と方言圏論
- (8) 日本の祭りと神
- (9) 民俗と映像
- (10) 柳田国男と日本民俗学の生成
- (11) 民俗学以前(他界への願望と経世済民の志向)
- (12) 民俗学の胎動(異族としての山人)
- (13) 民俗学の確立(稲と常民のいる日本)
- (14) 折口信夫の学問
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験 7 割、レポート・提出物など 3 割、60 点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

授業外学習

【事前予習】各回の授業内容に関わるキーワードや事項を調べておく。

【事後学修】講義ノートやプリントをもとに授業を振り返り、整理し直し、分からないことは調べておく。興味関心を持つ

た内容は発展的に調べたり、関連書籍を読むなどする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。読書レポートの対象はできるだけ購入して下さい。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

参考文献：民俗学の概論書としては、柳田国男『郷土生活の研究法』（ちくま文庫『柳田国男全集』）、柳田国男・関敬吾『日本民俗学入門』（復刊・名著出版）、和歌森太郎『日本民俗学』（弘文堂）、上野和男他編『民俗研究ハンドブック』（吉川弘文館）、福田アジオ他編『日本民俗学概論』（吉川弘文館）など。そのほか参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	比較文化論		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、フランス出身の比較文学者・俳人である担当教員の作品を読んだ後、学生自身が俳句実作に挑み、句集を作成します。少しずつ、日本詩歌と西洋詩との相違点・共通点を具体的に検証していき、文化論への広がりを目差し、日本文化全般にみる特質、あるいは普遍性を再発見していきます。

内容

教員自身の自伝的小説『ノルマンディーの夏』（『一茶とワイン』所収、角川書店）を読み、文中に引用されている俳句8句を鑑賞した上で、俳句の実作指導（句会）を行い、最後の授業では学生による手作りの合同句集を作成します。また、授業によって、ビデオを使ってオペラ、バレエ、短編映画などを参考資料とします。

- 1：小説『ノルマンディーの夏』1・2章＋”白鳥処女伝説”の比較文化論、チャイコフスキー『白鳥の湖』を中心に
- 2：小説『ノルマンディーの夏』3・4章＋”白鳥騎士伝説”の比較文化論、ワグナー『ローエングリン』を中心に
- 3：小説『ノルマンディーの夏』5・6・7章＋”童心と芸術”について、マチス絵画を中心に
- 4：小説『ノルマンディーの夏』8・9章＋”フェミニズムと芸術”について、サンドとショパンを中心に
- 5：小説『ノルマンディーの夏』10・11・12章＋”俳句の比較文学的考察”
- 6～12：俳句の実作指導（句会）
- 13～14：合同句集作成
- 15：まとめ

評価

実習として、授業6～12（俳句実作指導＝句会）における積極性(30%)、進歩(30%)、合評参加(40%)を評価します。合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は授業回数の3分の2を必要とする。？

授業外学習

ミニ・テスト（5回）に向けての事後学修が必要になる。事前予習は特に要求しないが、授業によって「宿題」を出す場合もある。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書としてマブソン青眼著『一茶とワイン - ふらんす流俳諧の楽しみ』（角川書店・2006）所収の小説『ノルマンディーの夏』を使用するが、現在絶版のため、担当教員がコピー（約40頁）を用意し、最初の授業に配布する。

【推薦書】マブソン青眼著『江戸のエコロジスト一茶』（角川書店・2010）

マブソン・ローラン著『詩としての俳諧、俳諧としての詩』（永田書房・2005）

科目名	地域文化論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 選択科目

科目の概要 メディアやインターネットの普及は、いつでもどこでも情報が得られる環境を作り上げた。一方、少子高齢化はさらに進み人口減少社会にはいった。地域固有の生活文化が失われつつあるなかで、都市住民の中には、田園志向、農業回帰、伝統見直しといった生活ニーズが生まれている。食の安全にかかる事件や東日本大震災によって、地方における暮らしや文化、中央と地方の関係、グローバル社会におけるコミュニティといった問題を、それぞれの地域から考える必要が高まっている。とくに地域に根付いた農業女性の視点から学ぶ。

学修目標 地域における課題解決の過程が生活文化と結びつくことを理解し、自らの身近な地域環境を見る目を養い、自分の意見を表現する力を養う。

内容

現在、農山漁村や地域で取り組まれている活動を順次紹介し、それらの具体的な事例を受講生が報告し、意見交換するという形で、理解を深めていきたい。特に、食べ物や生き物の大切さを知る女性たちが、地域や社会を変えるために何をしたのか、女性の活躍や貢献が注目されている取組をとりあげたい。

1. オリエンテーション - 都市と農村・中央と地方
2. 農村漁村の暮らしと都市の暮らし
- 3.-4. 農山漁村の女性の变化 - 農家女性から農村女性・女性農業者へ
- 5.-6. 女性起業の成立と展開
- 7.-8. グリーン・ツーリズムと民宿・民泊
- 9.-10. グリーン・ツーリズムとセカンドスクール・教育ファーム
- 11.-12. 地産地消と直売所・レストラン
- 13.-14. 地域資源・地域景観の保全・活用
- 15.まとめ - レポート報告と講評

評価

各テーマごとの発表と討論への参加(40点)、最終レポート(60点)とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】テーマに関する情報をインターネットより検索する。特に第3週から第14週までの各テーマは、講義を主とする週と、学生の報告を主とする週のセットとなるので、毎週の事前学習が必須である。

【事後学修】推薦書を読んで学習内容を深め、最終レポートに反映する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書: 各テーマごとの推薦書をオリエンテーションで紹介する。

科目名	精神文化論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：占いをめぐる文化事象を考察することで人間の精神文化への理解を深める科目です。

科目の概要：太古の昔から占いは人間の生活に欠かせないものでした。本講義では、占いについて様々な角度から検証し、日本文化における占いの歴史や意義を学びます。

学修目標

- (1) 日本における占いの歴史を理解する。
- (2) さまざまな占いの方法や役割を学び、日本文化における占いの意義を理解する。
- (3) 人間の精神文化の有りようについて理解を深める。

内容

1	ガイダンス：占いて何だろう
2	古代の占い 太占
3	古代の占い 亀卜・盟神探湯
4	古代の占い 易占の思想
5	古代の占い 易占の方法
6	中国起源の占い 式占
7	中国起源の占い 占星術
8	中国起源の占い 曆占
9	中国起源の占い 観相1
10	中国起源の占い 観相2
11	日本におけるおみくじ
12	漢詩のおみくじ
13	和歌のおみくじ
14	その他のおみくじ
15	まとめ

評価

授業への参加度(10%)、毎回の小レポート(20%)、筆記試験(70%)とし、総合評価60点以上を合格する。

授業外学習

【事前予習】各回の終わりに次回に関連する問題を出すので、それを考えておく(30分程度)。

【事後学修】各回の授業は次回の授業と連動するため、授業終了後に配布プリントを用いて復習を行う(30分程度)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】適宜、プリントを配布

【推薦書・参考図書】授業時に紹介する。

科目名	日本の歴史		
担当教員名	松本 剣志郎		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

選択科目である。

科目の概要

歴史を学ぶことの意味はなにか。歴史は現在や未来を知るのに役立つのだろうか。歴史は暗記物か。本授業では江戸時代を中心に、現在につながるトピックを選んで講義する。

学修目標 (=到達目標)

日本近世の特徴を説明できる。歴史的なものの見方を身につける。われわれの常識や伝統と呼ばれるものも歴史的につくられてきたものであることを理解する。

内容

1	ガイダンス
2	近世の国家と社会
3	時間を支配する者
4	名前の歴史
5	武蔵野台地に生きる
6	「二ノキン」の拡散
7	農民の暮らし
8	休日の誕生
9	江戸時代の家族
10	武士とは
11	名奉行 大岡越前と遠山の金さん
12	のび太の土地所有宣言
13	江戸のペット事情
14	禅の系譜
15	まとめ

評価

レポート(20%)と期末試験(80%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】推薦書や高校日本史の教科書を読み、日本近世について基礎的な理解をしておくこと。

【事後学修】授業中に紹介する参考文献を読み、授業理解を深めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。適宜プリントを配布する。

【推薦書】深谷克己『江戸時代』（岩波ジュニア新書、2000年）

【参考図書】高校日本史の教科書や図説

科目名	生活文化とコンピュータ		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんは、1年次の必修科目で情報処理演習を実習します。それに対し、この科目は、講義科目として、コンピュータのしくみや利用法を学んでいきます。

コンピュータが使用されている製品や、本体のしくみについて改めて学習し、色々な発見をしたり、わからなかったことが解決されたり、知識の幅を広げたりすることにより、コンピュータに親しみを覚えていただきたいと思います。パソコン利用で不快だったことが楽しさに変わると嬉しいです。

皆さんの身近なところには、知らず知らずのうちに、コンピュータシステムを利用したものがたくさんあります。コンピュータシステムを利用した家電製品が家庭の中に広がり、半ば必需品となっています。そして、さまざまな情報通信網を利用した双方向通信の可能なインターネットシステムや、携帯端末など、日常生活には当たり前のように普及しています。一方で、便利さと危険性が隣り合わせでもあり、たくさんの知識も必要とされています。これからは、コンピュータの仕組みなどを知り、ゲームや文章や表計算などのソフトを使うときだけでなく、みなさんの将来的にも、コンピュータ全般の利用価値を高める糸口になれば嬉しいです。

内容	
1	私たちを取り巻くコンピュータの環境について
2	コンピュータの種類とコンピュータの簡単な仕組みについて
3	OSやアプリケーション・ソフトウェアの役割について
4	コンピュータを分解して理解する
5	ノートPCや携帯電話を分解し仕組みを知る
6	情報の流れのしくみと意味を学ぶ
7	地上デジタル放送、テレビのしくみ、放送について理解を深める
8	周辺機器のはたらきについて
9	インターネットの成り立ち、はたらき 電子メール、WWWの利用について
10	コンピュータの歴史 コンピュータの言葉
11	家電製品のしくみや街のイルミネーションなど身近な電子機器について
12	身の回りにあるコンピュータやネットワークについて
13	インターネットの危険性と回避策について
14	全体の復習
15	まとめ

評価
各回の講義終了時にプリント提出30点、半期で2回のレポート20点、試験50点。総合得点60点以上で合格とします。

授業外学習

【事前予習】毎回の授業ごとに、次の内容を通知するのでそれについて調べてくる。

【事後学修】授業中にパワーポイントの資料からメモしたものを次回までにまとめてくる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教材は、授業ごとにプリントを配布。

【参考図書】

米村貴裕 『やさしいIT講座』

新星出版社 『パソコンのしくみ』

山形浩生 監修 『コンピュータ』

日経BP ソフトプレス 『パソコンのしくみ』

山田宏尚 著 『コンピュータのしくみ』 坂村健 『ユビキタスでつくる情報社会基盤』

エクスメディア 『パソコン用語集』 など、必要に応じて授業中に紹介する。

科目名	異文化コミュニケーション		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者 / 中学校教諭二種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

講義、ワークを通じて、グローバル時代にふさわしい異文化知識・教養を身につけること

昨今、政治・経済・ビジネス等、様々な分野におけるボーダレス化により、異文化交流の機会が大幅に増加しました。この授業では異文化と接触した際、私たちがどこに気をつけ、どのような対応をしたら良いのか包括的に理解することを目指します。その他、異文化間で起こる話題について取り上げて議論します。

異文化理解

内容

1	授業概要の説明
2	ジェスチャー、ボディランゲージ (Nonverbal Communication: Gestures and Body Language)
3	時間の捉え方 (Cultural Perspectives of Time)
4	演習 (ケーススタディ 北米) Misunderstanding
5	接触と距離 (パーソナルスペース) (Touch and Space)
6	規範 (Verbal Communication Norms)
7	演習 (ケーススタディ 欧州) Misunderstanding
8	個人主義、集団主義 (The Individual and the Group)
9	家族 (What is a Family)
10	演習 (ケーススタディ アジア) Misunderstanding
11	ジェンダー (Gender as Culture)
12	世界とのつながり (Our Connected World)
13	演習 (ケーススタディ : 日常生活) Misunderstanding
14	演習 (ケーススタディ : ビジネス) Misunderstanding
15	総括、発表

評価

学生に対する評価

平常点 (議論への参加) : 30%

レポート : 30%

発表 : 40% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】翌週に学修するUNITを読んでくること

【事後学修】演習プリントの実施

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書 : Asako Kajiura, Gregory Goodmacher, This is Culture, 南雲堂

(教科書は英語で書かれており、読んでもらうこともあります。)

その他プリント

科目名	アメリカ・カナダ研究		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者 / 中学校教諭二種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 = 選択の専門科目として卒業に必要な単位に加算されます。

科目の概要 = アメリカ合衆国の歴史や社会、文化などについて総合的に学びます。

学修目標 = アメリカ合衆国についての理解を深めるとともに、日本についてもこれまでと異なった視座で考えます。

内容

北米、特にアメリカ合衆国は、現在の日本にとっては最も関わりの深い国と言えます。この演習では、この国の歴史、そこに住む人々、社会、文化、習慣など様々な側面について、日本との関係にも目を向けながら理解を深めたいと思います。

第1週 授業紹介

第2週 アメリカの歴史、カナダの歴史

第3週 人種差別、公民権運動その1

第4週 人種差別、公民権運動その2

第5週 日系アメリカ人、カナダ人の歴史その1

第6週 日系アメリカ人、カナダ人の歴史その2

第7週 銃社会アメリカその1

第8週 銃社会アメリカその2

第9週 アメリカの裁判制度

第10週 アメリカ・カナダの家族

第11週 アメリカ・カナダの教育制度

第12週 ハワイの歴史、自然、文化

第13週 アメリカ・ポピュラー音楽の歴史その1

第14週 アメリカ・ポピュラー音楽の歴史その2

第15週 発表、まとめ

評価

レポート (50%)、プレゼンテーション (50%) で、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】次週学ぶ内容に関して、担当教員の指示に従い、教科書の指定箇所を熟読しておくこと。また、発表に関しては資料を整えること。

【事後学修】本時で学んだ内容に関して、担当教員の指示に従い、新聞・雑誌・Webなど教科書以外の資料を利用し理解を深めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】池上彰著 『そうだったのかアメリカ』集英社文庫

科目名	イギリス研究		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者 / 中学校教諭二種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The aim of the course is to give students a good background knowledge of contemporary British life and culture. Students will study about food, homes, festivals, music, sports and other aspects of everyday life in Britain. They will also become familiar with British contemporary music through personal research on a contemporary British artist. They will present their research to the class.

内容

The course will be based around a video. Students will study relevant vocabulary, and do listening and comprehension exercises about the video contents. We will also look at visual materials and web sites about the UK. Students will also make a poster about an aspect of British culture and give a presentation about it.

1	Introduction to Britain. Choosing homework topics.
2	Introduction to Britain.
3	Schools.
4	Schools.
5	Food. Student research presentation.
6	Food. Student research presentation.
7	Homes. Student research presentation.
8	Sport. Student research presentation.
9	Festivals. Student research presentation.
10	Festivals. Student research presentation.
11	Pop music. Student research presentation.
12	Pop music. Poster due date.
13	London.
14	London.
15	Video presentation. Review. Poster display.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Participation 30%, Presentation 30%, Homework project 40%.

授業外学習

【事前予習】 Students are expected to read the lessons before the classes.

【事後学修】 Students will choose a topic on which to make a poster presentation.

They will research this presentation for homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Mac Andrew, Window on Britain, Oxford University Press.

科目名	日本文学史（古代）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選必,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

私たちの祖先はどのような文学を生み出し、それをどのように発展させていったのか。この科目では古代日本の歴史や文化の流れをたどりながら日本文学の始まりとその展開について学びます。

上代・中古文学の代表的な作品を時代順に取り上げ、それぞれの作品が生まれた必然性と文学史的な価値について学習します。さらに部分的に原文を読んで、古典文学の醍醐味を味わいたいと思います。

文学が発生して徐々に形式が出来上がり、文学史上の最高峰の一つと言われる『源氏物語』が生まれるまで、さらにその後、中世へ引き継がれていく文学史の流れをたどることにより、古代日本人の精神活動の歴史を知り、各文学作品に対する関心を高めること、一般常識程度の知識を得ることを目標とします。

内容

1	ガイダンス・文学のはじまり
2	上代文学の時代区分と歴史的背景
3	現存最古の書『古事記』
4	最初の和歌集『万葉集』
5	その他の上代文学
6	中古文学の時代区分と歴史的背景
7	勅撰和歌集の誕生～『古今集』を中心に～
8	作り物語の世界～『竹取物語』を中心に～
9	歌物語の世界～『伊勢物語』を中心に～
10	日記文学の誕生～『土佐日記』
11	女流日記文学の世界～『蜻蛉日記』以降～
12	後宮社会と孤高の随筆『枕草子』
13	『源氏物語』と後期物語
14	歴史物語と説話文学
15	その他の中古文学・まとめ

評価

平常点30点とペーパーテスト70点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情で試験を欠席した場合は追試を、平常点を満たした上で60点に届かなかった場合は再試を一度だけ行います。

授業外学習

【事前予習】前回授業の疑問箇所を解決し、テキストを通読しておく。

【事後学修】授業中に記述したノートを整理し、疑問点がないか確認する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講後、指示します。

科目名	日本文学史（中世・近世）		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格： 日本文学の大きな流れの中で、中世・近世文学史の＜戦乱の世を背景とした無常観と幽玄の美意識＞＜泰平の世を背景とした浮世的享楽観と多様な美意識＞という時代風潮を、巨視的に学ぶ。歴史学・美学・日本学・芸道論・美術史その他の領域をふまえて学んでいこう。

科目の概要： 中世・近世文学のそれぞれを、序・韻文・散文・芸能の順で学んでゆく、そしてそれぞれ最後に実際の文学作品を楽しく読んでゆく。絵巻物や扇面図や大和絵・浮世絵などでビジュアルに味わい、能・歌舞伎などで芸能美を楽しみたい。

学修目標： 第一に、＜中世文学史＞は鎌倉・南北朝・室町・安土桃山時代という戦乱の世であり、＜近世文学＞は江戸時代という泰平の世の文学史で対照的である。序において各文学史の特色をまとめ、そのあとで韻文・散文・その他という順序で学んでゆく。第二に、もっとも中世らしい文学、もっとも近世らしい文学を読みながら、その根底にある思想性と日本語の独自の美を楽しみたい。第三に、それぞれの時代背景の影響を色濃くうけて、さまざまな個性の作者が固有の文学を残している。時代精神と文学の関係を考えながら、「中世とは何か？近世とは何か？」というテーマを自分なりに、追いかけてよう。また文学史を学ぶ意義もあわせて考えてゆきたい。

内容

1	<文学史とは>
2	<中世文学史>の序 -時代区分・時代背景・特色
3	A 韻文 ・和歌
4	韻文 ・連歌、俳諧の連歌 ・歌謡
5	B 散文 ・擬古物語 ・歴史物語 ・軍記物語
6	散文 ・説話文学 ・日記、紀行、随筆 ・御伽草子
7	C その他 （能、狂言・法語、五山文学）
8	作品鑑賞（DVD）
9	<近世文学史>の序 -時代区分・時代背景・特色
10	A 韻文 ・和歌 ・狂歌
11	韻文 ・俳諧 ・川柳
12	B 散文 ・仮名草子 ・浮世草子 ・前期読本 ・洒落本
13	散文 ・草双子 ・後期読本 ・合巻 ・滑稽本 ・人情本
14	C その他 （浄瑠璃、歌舞伎・国学）
15	まとめ 作品鑑賞（DVD）

評価

通常の授業態度（20点）、レポート（80点）により評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】日本の中世と近世に関する文学作品に親しみ、歴史にも興味を持っていること。

【事後学修】中世文学あるいは近世文学において興味ある作品を選んで、読んでみることを。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業の時に指示する。

【推薦書】いずれも、開講時に指示する。テキストはよりビジュアルなものを選ぶ。

【参考図書】『中世文学史』『近世文学史』（至文堂）（学灯社）その他

科目名	日本文学史（近現代）		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

明治から昭和にかけての小説を中心とする文学史を学びます。教科書の内容を基本としながら、さらに専門的な事柄を、パワーポイントを用いて講義します。

教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。

一般常識として必要な事項を知り、覚えることを学修目標とします。

内容	
1	開化期
2	新文学
3	浪漫主義
4	日清戦後文学
5	言文一致体の確立
6	自然主義
7	日露戦後文学
8	学閥
9	モダニズム
10	危機をはらんだ時代
11	近代の超克
12	近代文学の再出発
13	安定化する戦後
14	多様化する価値観
15	まとめ

評価

平常点（50％）、学期末のペーパーテスト（50％）。合計60％以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】教科書をよく読んでおく。

【事後学修】授業で学習した内容を、ノートにまとめなおすこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

秋山虔・三好行雄編『ビジュアル解説 原色シグマ新日本文学史』（文英堂）ISBN4-578-91080-6

その他、毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	日本語の世界		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語学に関して包括的な内容を学ぶ。私たちにとって身近な日本語を、客観的に観察・分析することで、普段は意識していない日本語の規則や表現工夫を探っていく。

科目の概要

講義では、日本語についての具体的かつ身近な事例を取り上げながら、日本語学の基礎的事項を解説する。また、適宜、確認テストや課題を課し、知識と理解の定着をはかる。

学修目標

身近な日本語に興味・関心を持つ。日本語の持つ規則性と体系性を理解する。

内容

1	オリエンテーション
2	日本語の音と形1(発音のしくみ・特殊拍)
3	日本語の音と形2(五十音図・音素と異音)
4	日本語の音と形3(アクセント・漢字かな交じり文・短縮語)
5	日本語の文法1(活用・格助詞)
6	日本語の文法2(使役・受身)
7	日本語の文法3(テンス・モダリティ・条件)
8	日本語らしい表現1(省略・「は」と「が」)
9	日本語らしい表現2(とりたて助詞・「のだ」)
10	日本語らしい表現3(授受表現・敬語・日本語学習者の日本語)
11	日本語の変化と多様性1(ら抜きことば・現代語に残る古典語)
12	日本語の変化と多様性2(日本語の地域差・方言の周囲分布)
13	日本語の変化と多様性3(ことばの位相差・現代敬語の特徴・ことばに潜む差別)
14	日本語の世界とは
15	まとめ

評価

授業への参加度20%、授業中に課す小レポート20%、期末テスト60% とし、総合評価 60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学習内容に関連して、自らの日本語使用や身近な日本語を振り返る。

【事後学修】学習内容に関連して、規範的な日本語使用と実際の日本語使用の相違に関心を持つ。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】庵功雄他（2003）『やさしい日本語のしくみ』くろしお出版

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	日本語の歴史		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探る。また、現代語から切り離された過去の言語活動として、古い時代のことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていく。

科目の概要

授業は講義を基本とし、日本語の成立において重要とされる内容を理解する。また、各種資料の具体的な検討を通して、日本語学的な資料の扱い方にも触れる。

学修目標

日本語の成り立ちについて関心を持ち、ことばの変化を理解することを目標とする。

内容

1	オリエンテーション
2	日本語の歴史を学ぶ意味
3	奈良時代の日本語 1 (万葉仮名の成立)
4	奈良時代の日本語 2 (奈良時代の発音)
5	平安時代の日本語 1 (平安時代における文体の種類)
6	平安時代の日本語 2 (文体を使い分ける)
7	鎌倉時代の日本語 (古典文法の変容)
8	室町時代の日本語 (係り結びの崩壊・武士のことば)
9	江戸時代の日本語 1 (江戸時代の発音)
10	江戸時代の日本語 2 (江戸時代の語彙)
11	明治時代の日本語 1 (言文一致を求めて)
12	明治時代の日本語 2 (言文一致の難しさ)
13	近代語から現代語へ
14	現代語における古語の名残
15	まとめ

評価

授業中に実施する小レポート40%、期末テスト60% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスに従い、教科書の該当部分を読む。

【事後学修】配布プリントを完成させ、教科書の該当部分を改めて読み、理解の定着を図る。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山口仲美（2006）『日本語の歴史』（岩波新書）岩波書店

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	日本語文法		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語学・日本語教育における文法の諸説をふまえて、日本語の特質や文法理論の問題点について考察する。身近な文法現象を文法的に捉え直すことで、普段、意識せずに使っている日本語が体系的な仕組みによって成り立っていることを知る。

科目の概要

講義では、テキストに掲載されている問題を解くことに加え、歌謡曲やドラマなどの身近な日本語を素材とした分析を行う。

学修目標

「文法的に考える」力を身につける。日本語の仕組みや身近な言語現象に関心を持つことができる。

内容

さまざまな文法現象を理解するためには、テキストの問題を繰り返し解くことが求められる。母語話者の直感を頼りにするのではなく、各形式の機能・用法について客観的に説明をすることを心掛けてほしい。

1	オリエンテーション
2	日本語文の構造
3	主題化
4	自動詞と他動詞
5	ヴォイス1(受身文)
6	ヴォイス2(使役文)
7	テンス1(絶対テンスと相対テンス)
8	テンス2(テンス以外のタ形)
9	アスペクト1(「~ている」と「~である」)
10	アスペクト2(金田一の動詞分類)
11	ムード1(対事的ムードと対人的ムード)
12	ムード2(注意すべきムードの用法、その他のムードの用法)
13	複文の構造1(名詞修飾節・補足節)
14	複文の構造2(副詞節・並列節)
15	まとめ

評価

授業中に実施する確認テスト40%、期末テスト60% とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】シラバスに従い、教科書の該当部分を読む。

【事後学修】教科書の該当部分を改めて読み、理解の定着を図る。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】原沢伊都夫（2010）『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』スリーエーネットワーク

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	古代の文学		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学・日本文化に関する専門選択科目の講義の一つです。日本の文学史(古代・中古)、物語文学論、民俗文化論と関連します。

この講義では、『古事記』上巻を読み、その神話的世界を探索します。八世紀に編纂された『古事記』は、基本的には古代天皇制を保証するテキストですが、そこにはさまざまな種類の神話が組み込まれています。それぞれの神話について歴史学、民俗学、考古学などの成果を踏まえつつ、神話的想像力の働き方を考え、『古事記』の神話的世界の特質を把握していきます。あわせて日本古代の精神世界や社会のありようについても理解を深めます。

内容

- (1) 古事記の神話を読む意義
- (2) 神話とは何か
- (3) 古事記と日本書紀
- (4) 古事記のコスモロジー
- (5) 世界のはじまり
- (6) 火の起源の神話
- (7) 黄泉国訪問
- (8) 三貴子誕生
- (9) 天石屋戸籠り
- (10) オホゲツヒメと死体化生
- (11) 因幡の白ウサギ神話
- (12) 根之堅洲国訪問
- (13) 国譲り神話
- (14) 天孫降臨と海神国訪問
- (15) まとめと確認

講義の内容や順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

試験またはレポート70%、授業内での提出物・小レポートなど30%の割合です。60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】古事記テキストの各回の該当する範囲を事前に読み、語句や内容について調べておく。

【事後学修】講義のノート、配布プリントをもとに、授業内容を振り返って整理し、分からないことなどを調べる。興味関心をもったことは発展的に調べたり、関連する参考図書を読むなどする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示（『古事記』テキストのうち授業に最適なものを選定する）。

科目名	中古の文学		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

中古文学とは平安時代の文学です。平安時代は王朝文化が最も栄えた時代であり、有能な女流作家が多く生まれました。彼女たちはなぜこの時代に作家となり、何を残したのか、それを学んでいきます。

平安時代の代表的な女流文学の一つ『枕草子』を取り上げます。「春はあけぼの」で有名な清少納言の作品です。短くてテンポの良い文体、作者の繊細で鋭い観察眼には現代人も驚き、共感をいただきます。また、そこに綴られた中宮定子の逸話は後宮文化の象徴として輝いています。まず、『枕草子』の原文を読んで作品を耳で味わいます。そして、周辺資料から作品に書かれていない歴史的背景を探ることによって、より深く『枕草子』を知ります。時には清少納言になったつもりで現代版の類集段創作を試みてみます。

『枕草子』は和歌でも物語でもない、まったく新しい形態の作品です。このような作品がなぜ生まれたのか、その理由を作者の側と時代背景から探っていくのがこの授業のねらいです。授業を受けた後に、これまで知らなかった『枕草子』の世界を垣間見てほしいと思います。

内容

作者清少納言が宮仕えに入り、中宮定子や同僚の女房たちと交流を深めていった年月にそって、日記的章段と呼ばれる章段を取り上げて読んでいきます。また、自然や人間に対する鋭い観察眼で描かれた類聚段も適宜取り上げます。

1	ガイダンス
2	講義：作者と作品について
3	作品講読 日記段前期：中宮定子との出会い
4	作品講読 日記段前期：栄華期の桜
5	作品講読 類聚段：木の花は
6	作品講読 類聚段：うれしきもの
7	作品講読 日記段中期：斉信との交流
8	講義：時代背景について
9	作品講読 日記段中期：長期里居の頃
10	作品講読 日記段後期：歌人の娘としての自負
11	作品講読 類聚段：にくきもの
12	作品講読 日記段後期：行成との交流
13	作品講読 日記段後期：三条宮と今内裏
14	講義：皇后定子崩御について
15	まとめ

評価

授業中の課題とペーパーテストを行い、課題20点、ペーパーテスト60点、平常点20点で評価し、総合60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を行う。

授業外学習

【事前予習】授業中に指示する資料を読んでおく。

【事後学修】授業内容を復習し、ノートをまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【推薦書】とも、開講後に指示する。

科目名	中世の文学		
担当教員名	立木 宏哉		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近世以降、広く読まれてきた『徒然草』の読解を通して、日本の古典文化の奥深さ・面白さを学ぶ授業です。できるだけ古典に関して知識のない者でもついていけるよう配慮します。

『徒然草』は、いわゆる「随筆」文学と呼ばれる作品ですが、いろいろな所に文学的な仕掛けが隠されています。そういった仕掛けを通して、作者兼好は何を表現しようとしたのか、それを実際の章段を味わいながら、考え学んでいきます。

何かを表現するうえでの作者兼好と今の私たちとの違いを知り、また共通点も理解して、今の私たちにも訴える力を持つ作品として古典文学を読む力を養います。

内容

1	導入 『徒然草』と兼好
2	兼好の生涯と後世から見た兼好像
3	兼好の和歌 兼好の生の多面性
4	兼好の和歌
5	『徒然草』を読む 序段「つれづれなるままに」
6	『徒然草』を読む 結婚と女性への眼差し
7	『徒然草』を読む
8	『徒然草』を読む 友と孤独と書物と
9	『徒然草』を読む
10	『徒然草』を読む 自分の体験の描き方
11	『徒然草』を読む
12	『徒然草』を読む 滑稽な話
13	『徒然草』を読む
14	『徒然草』を読む 人の「尊さ」について
15	まとめ

評価

平常の受講態度10点、授業中に提出する課題30点、ペーパーテスト60点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で扱う予定の章段を事前に読み、わからない語句や疑問点があれば調べて、ノートにまとめましょう。

【事後学修】ノートや配布プリントにも目を通して、授業で扱った章段を読み直しておきましょう。同じテーマを持つ章段を授業で紹介しますので、自分の関心に従って読んでおきましょう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】稲田利徳編『校注徒然草』（和泉書院）

【推薦書】【参考図書】教室で紹介しします。

科目名	近世の文学		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： 人間はなぜ旅にあこがれ出てゆくのでしょうか？<人間にとって旅とは何でしょうか？>。日本近世文学における芭蕉の『おくのほそ道』のオリジナリティを、学際的に考えてみましょう。日本中世の紀行文、近世の旅の文化史、浮世絵の名所絵、近世の歴史学などを関連づけて眺め、海外の紀行作品をも比較・分析してみます。

科目の概要： 比較文化的な視座から西洋と東洋のさまざまな紀行文学をたどってみましょう。巨視的な視野のなかで、<西洋と東洋の旅の文学>、また<芸術にとって旅とは何か？>を考えながら、楽しく読んでいきましょう。

学修目標： 第一は、日本紀行文学の流れを学びます。日本の近世（江戸時代）には、<泰平の世>において多くの紀行文が書かれ、『国書総目録』によると数千の膨大な紀行文があります。女性たちの温泉紀行も書かれ、上田秋成は家に居ながらにして架空紀行『去年の枝折』を書きました。そして、西行にあこがれながら芭蕉は5つの紀行文を書きましたに、芭蕉はどんなオリジナルな紀行文を表現したのでしょうか。第二は、 それに対して、ゲーテの『イタリア紀行』を、セルバンテスの『ドンキホーテ』の紀行文を考えます。第三は、海外の旅を素材とした紀行芸術を鑑賞することにより、日本近世の芭蕉の紀行文における固有の想像力を考えてみましょう。

内容	
1	<序 詩にとって旅とは何か・西洋と東洋の旅の文学>
2	サン・テグジュペリ『星の王子様』
3	ゲーテ『イタリア紀行』
4	セルバンテス『ドン・キホーテ』
5	スウィフト『ガリバー旅行記』と宮崎駿『天空のラピュタ』
6	<日本の紀行文学>
7	日本の紀行文学の概要
8	『土佐日記』『徒然草』
9	『東海道中膝栗毛』と『西洋道中膝栗毛』
10	<松尾芭蕉の紀行文> ギャグ・マンガ日和とカノン化
11	松尾芭蕉の生涯と『おくのほそ道』の成立
12	『おくのほそ道』各章段
13	登場人物・自然描写・雅と俗
14	全体の構成
15	深川芭蕉記念館・江戸資料館・京都芭蕉庵などの紹介

評価

評価は、平常点(20点)レポート(80点)を合計し、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】授業で扱う予定の紀行文学について、手に入りやすい文庫本などで読んでおきましょう。

【事後学修】興味を持った紀行文学について、関連する同時代の社会背景などを書物で調べてみましょう。また、歴史や作者についても学ぶこと。。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【推薦書】 穎原退蔵・尾形昶訳注『新版おくのほそ道』（角川ソフィア文庫）

【参考図書】授業中に紹介する。

科目名	近現代の文学		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

パワーポイントを用いた講義です。

テーマは「文学の教養A to Z」

アメリカの作家A・ピアスの奇書『悪魔の辞典』のなかから、26のキーワードをえらび、文学と社会の多様な関係について論じます。

文学者の視点に立つと、どのような世界がみえるのか。合理的な社会分析とは異なる、主観と自意識に彩られた歪んだ世界、それでいて真理を穿つ視点。社会における文学の位置づけを考えると同時に、文学者の視野から見える社会を知ること、思考の柔軟性と批評力を鍛えます。

古今東西の文学に関する基礎知識を身につけ、自分の好きな作品について分析的に論じるようになることが学修目標です。

内容	
1	プロローグ：『悪魔の辞典』について
2	Ambition(野心)/Back(背中)：日本初の“近代文学”について
3	Critic(批評家)/Discriminate(識別する)：ロシアの“近代文学”について
4	Education(教育)/Felon(重罪犯人)：“小説”の起源について《その1》
5	Grammar(文法)/Habit(習慣)：“小説”の起源について《その2》
6	Imagination(想像力)/Justice(適法)：モラルについて《その1》
7	Kill(殺す)/Laocoon(ラオコーン)：モラルについて《その2》
8	Multitude(群衆)/Notoriety(悪名)：通俗について《その1》
9	Oblivion(忘却)/Platitude(陳腐)：通俗について《その2》
10	Quotation(引用)/Reality(実在)：前衛について
11	Serial(続き物)/Type(活字)：メディアと作品について《その1》
12	Usage(慣用法)/Virtues(美德)：メディアと作品について《その2》
13	War(戦争)/Xanado(ザナドゥ)：言葉のリアリティについて
14	Yesterday(昨日)/Zigzag(ジグザグ)：読書について
15	エピローグ：総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー(50%)、学期末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】予習は特に必要ありません。

【事後学修】授業で学習した内容をノートにまとめなおす。授業中に紹介した文学作品に目を通してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】ピアス『新編 悪魔の辞典』岩波文庫（ISBN4-00-323122-8）

その他、毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	音声表現論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格・・・「話す」「聞く」は、「読む」「書く」と並んでコミュニケーションの基本である。ところが、おしゃべりは得意でも、自分の考えや思いを的確に伝えることが苦手だという人が増えている。日本語の話しことばに着目し、理論と実践で音声表現の基礎を学ぶ。日本語を大切にしつつ言葉によって人と関わることの素晴らしさを伝えたい。生き生きしたクラスにするため、学生の皆さんの積極的な参加を希望する。

科目の概要・・・毎回声を出して日本語の「話す」「読む」という音声表現技術を磨く。また、「聞く」行為を中心に、教育・医療・介護の場でのコミュニケーションについて考察する。

学修目標(=到達目標)・・・どんな社会にいても大切な「パブリック・スピーキング」の能力を高める。また、のびのびと自己表現できるように敬語の基本を身につける。

内容	
1	日本語の音声表現について基礎を学ぶ
2	わかりやすく「話す」「伝える」
3	「話す」と「読む」の関係
4	タイトルをつけてスピーチする
5	現代の敬語 間違いやすい敬語
6	現代の敬語 「敬語の指針」で基本を学ぶ
7	現代の敬語 敬語とコミュニケーションについて
8	「子どもとことば」について考察する
9	絵本や昔話について
10	医療・福祉の場でのコミュニケーションについて
11	「聞く」「聴く」「訊く」それぞれの違いとポイント
12	インタビューと報告
13	インタビューのポイント
14	教育の場でのコミュニケーションについて
15	まとめ

評価

課題作成(30%) 口頭発表や実習(50%) クラスへの貢献度(20%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業のテーマについて準備や予習をする

【事後学修】ほぼ毎回出される課題に取り組む

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。

【推薦書】『新版NHKアナウンスセミナー』（発行：NHK出版）

【参考図書】好本恵著『話しことばの花束』（発行：リヨン社）

科目名	漢文学を読む		
担当教員名	田中 正樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、教員の免許状(中学校教諭二種免許状「国語」)取得のための必修科目である。漢字熟語の基本構造でもある漢文の基礎が身につくように、易しい短編の漢文をテキストとして用い、漢文の構造、訓読という翻訳システムに関する基本的考え方を学ぶ。日本語と古典中国語(漢文)との文法の違いを訓読法の学習を通して理解するに際し、日本語の文語文法の知識も重要になる。漢文の内容の理解と「ことば」としての漢文の理解は、日本語・日本文化の更なる理解へとつながることを意識し、「古典」を学ぶ現代的意義についても考える場とする。

科目の概要

この授業では、日本文学にも大きな影響を与えた中国の古典小説の中から、読みやすい短編作品を少しずつ取り上げ、その多様な世界を原文(漢文)を通して味わいつつ、漢文の基礎を身につける。

比較的易しく短い漢文をテキストとし、留意すべき漢文の構造や語法について解説を加えつつ、白文・訓読・現代語訳の関係を学ぶ。

学修目標(=到達目標)

必ずしも「漢文」の知識が十分でなくても参加できるようにするが、配布するテキスト(プリントを用意)に基づいて予習(語句調べや訓読の作成、返り点をつけるなどの作業)し、授業で解説した語法などについてはきちんとノートを作成し、理解・記憶できるまで復習してほしい。

内容	
1	「漢文」とは何か。(「漢文」の意味、漢文翻訳システムとしての「訓読法」について)
2	漢文の構造。(熟語の成り立ちと漢文法)
3	「志怪」(中国の怪談)を読む (返り点の仕組み。原文と訓読の関係)
4	「志怪」を読む (返り点をつけてみよう。)
5	「志怪」を読む (実字と虚字について)
6	「志怪」を読む (「再読文字」について:種類と意味。なぜ二度よむのか。)
7	「志怪」を読む (疑問・反語の語法)
8	中国文学について (中国文学簡史:詩・詞・曲・小説)
9	「志怪」を読む (受動態の語法)
10	「志怪」を読む (受動態の語法)
11	「公案小説」(中国のミステリー)を読む (使役の語法)
12	「公案小説」を読む (接続詞の種類)
13	「公案小説」を読む (その他の語法。「所以」など)
14	「公案小説」を読む (その他の語法)
15	まとめ

評価

試験（60％）、平常点（授業内での受け答えを含む：40％）とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布するテキストに基づいて語句調べや訓読の作成、返り点をつけるなどの作業を行う。

【事後学修】授業で解説した語法などについてはきちんとノートを作成し、理解して覚える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布

【推薦書】

【参考図書】漢和辞典：戸川芳郎監修／佐藤進・濱口富士雄編『全訳 漢辞海（第三版）』（三省堂）など。

科目名	物語文学の世界		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

平安時代に初めて平仮名を用いて書かれた散文作品が物語です。『竹取物語』に始まる物語文学は、約1000年前に『源氏物語』という最高傑作を生み出すに至りました。この授業では物語文学の代表作として『源氏物語』を取り上げ、学びます。

『源氏物語』の全体構成と概要を把握した上で、部分的に原文を鑑賞しながら、限られた授業時間の中で、できるだけ作品に触れるようにします。永遠の古典を、原文を味わいながら一緒に読んでいきましょう。時々、漫画や映像などの現代メディアも利用して分かりやすい授業を展開します。

『源氏物語』が時には映画や漫画や宝塚歌劇など様々なメディアを通して現代に受け入れられているのは、人間の心の真実が時代を超えて伝わってくるからです。それこそ作者紫式部がこの物語を書いた目的でした。授業を通して紫式部の思いをとらえ、受講生それぞれの人生観を見つめ直す契機にしてくれることを願います。

内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっており、半期の授業では、光源氏の一生について扱います。これは、物語全体の3分の2にあたります。以下、物語の筋に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

- 1 ガイダンス・作者について
- 2 作品の概要
- 3 物語の始まり(桐壺巻)
- 4 光源氏誕生(桐壺巻)
- 5 雨夜の品定め・空蝉(帚木巻)
- 6 中流女性との恋(夕顔巻)
- 7 紫の君発見(若紫巻)
- 8 車争い(葵巻)
- 9 生霊出現(葵巻)
- 10 須磨退去(須磨・明石巻)
- 11 六条院の栄華(初音巻)
- 12 女三宮降嫁(若菜巻)
- 13 柏木の悲恋(柏木巻)
- 14 紫の上の死(御法・幻巻)
- 15 まとめ

評価

授業の途中でリアクションペーパーを、最後にレポートを課します。

リアクションペーパーを含む平常点40点、レポート60点で、60点以上を合格とします。

授業外学習

- 【事前予習】テキストで、物語の概要や現代語訳をあらかじめ読んでおく。
- 【事後学修】授業で十分に読めなかったテキストの内容を自分で読み直しておく。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】ビギナーズクラシックス日本の古典『源氏物語』角川書店編

【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	説話の世界		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学・日本文化に関する専門選択科目の講義の一つです。日本の文学史(古代・中古)(中世・近世)(近・現代)、近現代文学論や日本の芸能論、民俗文化論と関連します。

近年、夢枕獏の小説『陰陽師』をひとつの契機として、小説・コミック・テレビ・映画・ゲームなどのさまざまなメディア(=表現世界)では、安倍晴明(あるいは陰陽師)が主役となり脇役となりして活躍しています。式神を駆使し、呪術によって悪鬼・怨霊を鎮める活躍ぶりはまるで架空の人物のようですが、晴明は平安時代中期に実在した陰陽師です。なぜ彼はそうした異能の呪術者として説話化されることになったのでしょうか。本講義では、陰陽道の基本思想・形成過程を概観したうえで、安倍晴明説話を具体的に読み、説話の生成と変容の過程を考えます。

日本の陰陽道の概要・平安時代中期の陰陽師の活動をふまえて、実在の安倍晴明を把握し、説話のなかの晴明像の生成と変容の様相を理解することが学修の目標です。

内容

- (1) 『陰陽師』・陰陽道占いブームと現代
- (2) 陰陽・五行思想の概要
- (3) 古代国家と陰陽・五行思想
- (4) 平安京と陰陽道
- (5) 平安貴族の精神世界
- (6) 日記・記録の中の晴明
- (7) 『今昔物語集』『宇治拾遺物語』の中の晴明
- (8) 説話化される晴明
- (9) 狐の子伝承の生成
- (10) 語り物のなかの晴明
- (11) 歌舞伎のなかの晴明
- (12) コミックスのなかの晴明
- (13) 映画化される晴明
- (14) 各地の晴明伝承
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

評価 レポート4割、試験4割、平常点(授業時の小レポート・提出物など)2割の配分とし、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

授業外学習

【事前予習】授業に関するキーワードを中心に図書館などで調べておく。教科書に関連する場合は事前に読んでおく。

【事後学修】講義のノートを読み整理し直し、不明な点などを図書館などで調べておく。興味関心をもったことはさらに発展させて調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は授業時に指示します。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	児童文学		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 : 遙かかなたの子どもの日々に、お気に入りの場所で貴女はどんなおとぎ話や紙芝居を楽しんだろう。そこにおける物語性、動植物の意味、成立と作者などを考えて、文学研究の初歩を学ぶ。また、創作力・朗読力も培う。やさしい英語で昔話を聞く楽しみも味わう。

科目の概要 : 少年少女時代に読む童話の世界性を楽しく考える。日本中世文学の御伽草子や、絵本・アニメ・実写の相違について、ヨーロッパやアジアの比較童話学も視野にりたい。創作や朗読も試みたい。

学修目標 : さあ、もう一度子ども時代に親しんだ日本のおとぎ話や世界の昔話を、楽しく研究してみよう。第一に、日本のおとぎ話・昔話の代表作を読み、原作と現代文の違いや、メディアによる違いを考える。また、紙芝居は日本のオリジナルなジャンルである。昭和初期から戦争中の紙芝居で、所蔵品を鑑賞し考究してみる。第2にヨーロッパの昔話を読む。小澤俊夫氏は『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュートイは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。第3に、最終目標としては、<朗読><創作>も行いたい。そして毎年恒例の課外授業として、国際子ども図書館の見学も行う。

内容

1	序 世界の昔話 美智子さま『橋をかける』講演記録
2	<日本の御伽草子・日本の昔話・現代のおとぎ話>の比較
3	一寸法師・鉢かづき・物くさ太郎など
4	<世界の昔話・童話>
5	グリム兄弟とグリム童話
6	ペローの作品
7	アンデルセン童話
8	<日本の紙芝居の歴史と実演>
9	第二次世界大戦中の作品からアンパンマンまで
10	<世界の創作童話>
11	不思議の国のアリス
12	オズの魔法使い
13	<朗読レッスン>OGゲスト(声優)
14	<課外授業>国際子ども図書館見学
15	まとめ

評価

評価は平常点(20点)、レポート(80点)で行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】次回に取り上げる児童文学の作品を、読んでおくこと。さらに、日頃から多くの児童文学に触れて置くこと。

【事後学修】授業で扱った児童文学の作品を、本や映像で全編を鑑賞してみる。また、作者についても調べてみよう。

夏休みには、上野の国際子ども図書館を見学する予定である。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』（1997年、ぎょうせい）

【参考文献】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』（1990年、講談社学術文庫）

市古貞次校注『御伽草子（上・下）』（1985・86年、岩波文庫）

科目名	リーディング		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 This class will familiarize students with new vocabulary, idioms and a diversity of sentence structures.

科目の概要 Students will also do private reading , borrowing graded readers from the library for a book report.

学修目標 (=到達目標) They will give a weekly oral summary to reinforce their language skills.

内容	
1	Introduction. Course explanation
2	Please get rid of that Smell
3	Red in the Face
4	Heart Patient walks home
5	Businessman Freaks out
6	Toy saves man's life
7	Hat lady wants to cheer you up
8	Bear goes on vacation
9	Man hangs on for dear life
10	Neighbours fed up with loud music
11	Prison escape is easy as pie
12	Smart pig saves the day
13	Lazy mailman Hides letters
14	Girl wants more body art
15	まとめ Review of units・Questions from students

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20%, book report 40% , vocabulary tests20%, reading/comprehension 20%

授業外学習

【事前予習】 Read and check difficult vocabulary.

【事後学修】 Review new expression. Homework prints.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Can You believe it ? Book 1. OXFORD (Jann Huizenga

【推薦書】

【参考図書】

科目名	リスニング		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、「英語を英語のまま聞いて理解する能力」、すなわち英語4技能の中でもリスニング力を高め、音変化を学ぶ科目です。英語の音は、アクセントの位置、イントネーション、単語のつながり方などにより変化し、単音で聞くのとは違う音の連続になります。そこで、その法則性を学ぶことが大切です。それを踏まえて、大学生として必要な語彙やイディオムの増強をはかりながら、簡単な英文や会話等を瞬時に理解することができるリスニング力を養っていきます。学習目標は、日常生活の様々な場面で頻繁に使われている英語表現を学び、ナチュラルスピードで聞いて会話が理解できるようになることです。

内容

音の脱落や連結について意識し、実際に声に出して行うシャドーイングやリピーティング、そして聞こえた英語を書き取るディクテーションを主に行います。

(前期)

- 1．授業概要の説明 2．シャドーイングとは 3．気分を表す表現 4．鏡を前につぶやく表現
- 5．料理をつくるときの表現 6．服を着替えるときの表現 7．季節を感じる表現
- 8．リピーティングとは 9．人や姿や動作を表す表現 10．パソコンを操作するときの表現
- 11．行動予定を立てるための表現 12．食するときの表現 13．電車に乗るときの表現
- 14．道順に関する表現 15．総括

(後期)

- 1．授業概要の説明 2．前期の復習 3．感情を表す表現 4．出張や旅の表現
- 5．料理を注文するときの表現 6．家の中のものに関する表現 7．体の部分とその関連表現
- 8．一日を振り返るときの表現 9．休息を表す表現 10．連絡をとるときの表現
- 11．身の回りをきれいにするときの表現 12．天気に関する表現
- 13．買い物に関する表現(1) 14．買い物に関する表現(2) 15．総括

評価

平常点(授業中の発表、授業態度など)30%、課題20%、試験(前期・後期)50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布プリントにおける単語、イディオム等のチェック

【事後学修】シャドーウィング、リピーティングの実施

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布します。

科目名	ライティング		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 The focus of this class is to be able to achieve success in completing a wide variety of practical tasks in written English.

科目の概要 Students will work in their workbooks which provide a wide variety of task-based exercises for completion.

学修目標 (=到達目標) Students should be able to write e-mails, complete forms, write thank you letters, request information, make arrangements and appointments in English by the end of the course.

内容	
1	Weeks 1 and 2. Writing and email. Filling in a questionnaire.
2	Weeks 3 and 4. Writing informal emails. Filling in application forms.
3	Weeks 5 and 6. Writing formal emails. Writing thank you letters.
4	Weeks 7 and 8. Writing to companies. Requesting information.
5	Weeks 9 and 10. Writing to a host family. Requesting details.
6	Weeks 11, 12 and 13. Making arrangements. Changing arrangements.
7	Weeks 14 and 15. Review materials.
8	Weeks 16 and 17. Giving directions. Giving instructions.
9	Weeks 18 and 19. Dealing with problems. Making complaints.
10	Weeks 20 and 21. Describing places. Describing abilities.
11	Weeks 22 and 23. Giving an opinion. Giving a recommendation.
12	Weeks 24 and 25. Writing reviews.
13	Weeks 26 and 27. Writing personal stories and experiences.
14	Weeks 28 and 29. Writing about interests. Applying for jobs.
15	Week 30. Overview.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Students will be evaluated on homework 30%, short tests 30% and a final test 40%.

授業外学習

【事前予習】 Looking at English language forms in newspapers and online.

【事後学修】 E-mails.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【Textbook】 Writing for the Real World. 1.

【Author】 Roger Barnard. Dorothy E. Zemach

【Publisher】 Oxford University Press

科目名	コミュニケーションスキルズ		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The purpose is for students to learn English by practicing using it. they will learn to give their own ideas. They will practice in pairs and in groups. They will be encouraged to concentrate on communication and meaning. they will study new vocabulary and be encouraged to use the internet outside class.

内容

1	Weeks 1 and 2. Greetings, hobbies and interests.
2	Weeks 3 and 4. Talking about family, describing people.
3	Weeks 5 and 6. Talking about dates and schedules.
4	Weeks 7 and 8. Talking about locations.
5	Weeks 9 and 10. Giving directions, understanding maps.
6	Weeks 11 and 12. Talking about past events.
7	Weeks 13 and 14. Studying about vacations.
8	Weeks 15. Review and Presentation.
9	Weeks 16, 17 and 18. Jobs and interviews.
10	Weeks 19 and 20. Talking about entertainment.
11	Weeks 21 and 22. Discussing the future.
12	Weeks 23 and 24. Talking about shopping and money.
13	Weeks 25 and 26. Describing processes.
14	Weeks 27 and 28. discussing music.
15	Weeks 29 and 30. Review and presentation.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Class participation 30%, small tests 30% and interview tests 40%.

授業外学習

【事前予習】 Students should read through each lesson to prepare for the classes.

【事後学修】 Listening exercises will be set for homework.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

English Firsthand 1.

M. Helgesen. S, Brown. J, Wiltshier.

Longman, Pearson.

科目名	上級英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 The purpose of this class is to give practice to students who are already able to communicate at a basic level in English. The students will be expected to voice their opinions on a wide range of more difficult topics.

科目の概要 Students will prepare readings on various controversial topics. They will discuss these in pairs and in groups. They will be expected to justify their opinion on the various topics.

学修目標 (=到達目標) Students will be expected to be able to voice opinions and their own ideas on a range of topics by the end of the class.

内容	
1	Weeks 1, 2 and 3. Gathering topic material, news topics.
2	Weeks 4 and 5. Talking about cultural issues.
3	Weeks 6 and 7. Talking about gender issues.
4	Weeks 8 and 9. Talking about the news.
5	Weeks 10 and 11. Talking about financial issues.
6	Weeks 12 and 13. Talking about physical and mental health issues.
7	Weeks 14 and 15. Assessment and interviews.
8	Weeks 16 and 17. Talking about the news.
9	Weeks 18 and 19. Talking about ecology.
10	Weeks 20 and 21. Talking about food safety.
11	Weeks 22 and 23. Talking about working lives.
12	Weeks 24 and 25. Talking about the news.
13	Weeks 26 and 27. Discussing arts and music.
14	Weeks 28 and 29. Discussing the future and dreams.
15	まとめ

評価

Preparation will be required. Students will be evaluated on their preparation 20%,

their attendance and participation in class 40%, and their interviews 40%.

60% will be a passing grade.

授業外学習

【事前予習】 Students will be required to read articles before the classes.

【事後学修】 Students will write summaries of their own view points after each discussion topic.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 To be announced.

【推薦書】 Various readings from texts.

【参考図書】 International news from the Japan Times and online news websites.

科目名	ホームステイ英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、外国へ行き生活する際、英語のネイティブスピーカーや他の外国人と英語で口頭でのコミュニケーションがスムーズに図れるよう、英語と異文化を同時に学習します。

授業では、ホームステイや外国旅行の際、想定される場面での会話を中心に、ダイアログを聞いて理解し、口頭で使う練習を行います。履修する学生は、各授業のテーマの中で使用される表現を、聞いて理解するばかりでなく、テキストがなくても、口頭で使用できるようにすることを目標とし、学習に臨んでほしいと思います。授業では、アイコンタクトをとりながらロール・プレイを行うことを心がけましょう。

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

1. 英語圏での生活の様々な場面で使用するフレーズや語彙を学び、使用することができる。
2. 英語圏の文化を学び、異文化を理解し、調和を保ちながら行動することができる。

内容

毎回のトピックについて、海外を旅行/生活する際に必要な英語表現の練習、ロールプレイを行う。

1	ガイドンス 1. would you like beef or fish?
2	2. Can I have your passport, please?
3	3. Can I change some money here?
4	4. Do you have any vacancies?
5	5. Go straight along Seventh Avenue
6	6. Do you mind if I watch TV?
7	7. How do you feel?
8	8. Are you free this weekend?
9	9. Are you ready to order?
10	10. My father works in a bank
11	11. What's your favorite food?
12	12. What would you like to drink?
13	13. I won't be home for lunch today.
14	14. Could you tell me when we're there, please?
15	Review

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語を辞書で調べておくこと。

【事後学習】授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行い、コミュニケーションの手段として英語を使えるよう練習すること。（シャドウイングの方法については授業内で指導する。）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Buckingham and Whitney, Passport (1st. Edition) Student Book , Oxford University Press

科目名	英語日記		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： この科目は、選択の専門科目で、卒業単位として加算されます。

科目の概要： この科目は初級レベルで、英語を基礎から学ぶことを目的としています。身近なこと(自己紹介、友人、出身地、学生生活、アルバイト、休日の過ごし方など)を、簡単な英語や画像を用いて、学生一人ひとりがミニアルバムを作成しながら、基礎的な表現力を身につけます。

学修目標(=到達目標)： 自分の身の回りのこと、日常的なことに関して、簡単な英語で語るができるようになることを目標とします。

内容

- 第1週 コース紹介
- 第2 - 4週 自分・家族・誕生日・出身地などについて
- 第5 - 8週 友人・学校生活・授業・アルバイトなどについて
- 第9 - 11週 アルバイト・クラブ活動・日常生活について
- 第12 - 14週 趣味・レジャー・特技などについて
- 第15週 前期のまとめ(発表を含む)

評価

授業への参加度・課題(70点)、発表(30点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】担当教員の指示に従い、所定の項目を事前に準備します。
- 【事後学修】インターネット上でトピックごとにブログを作成していきます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に教科書は使用しません。プリントなどを使用します。

科目名	海外事情		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

講義、ワークを通して海外事情を広く深く知り、将来グローバルに活躍する人材の育成を目指す。 現在、世界で起こっている様々な出来事や数字を取り上げます。 日本のことだけでなく、グローバルな視野で物事を捉え、興味を持ち、幅広い知識・教養を身に付けること

内容

日本を含む世界の最新ニュース(1週間)の紹介 英文ニュース記事等の要約、意見の発表 数字を中心としたグローバル羅針盤の紹介 その他 毎週、複数のニュース記事を授業で配布します。 グローバルな話題について英語で話せるトレーニングも行います。

1	授業概要の説明
2	海外の最新ニュース記事(1)労働(1)
3	海外の最新ニュース記事(2)労働(2)
4	海外の最新ニュース記事(3)労働(3)
5	海外の最新ニュース記事(4)経済(1)
6	海外の最新ニュース記事(5)経済(2)
7	海外の最新ニュース記事(6)教育(1)
8	海外の最新ニュース記事(7)教育(2)
9	海外の最新ニュース記事(8)教育(3)
10	海外の最新ニュース記事(9)人口(1)
11	海外の最新ニュース記事(10)人口(2)
12	海外の最新ニュース記事(11)人口(3)
13	海外の最新ニュース記事(12)豊かさ
14	海外の最新ニュース記事(13)復習
15	プレゼンテーション

評価

平常点(担当箇所の発表、授業への貢献度)50%、プレゼンテーション50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】1週間で起こったニュースをまとめておくこと

【事後学修】授業で議論した内容について、気づき等についてまとめること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布します。

科目名	時事英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	海外英語研修		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

海外英語研修は、選択科目として卒業必要単位に加算されます。

夏期休業中の一定期間、本学の海外姉妹校や提携校で開講されている英語集中講座に参加することにより、英語によるコミュニケーション能力の向上と、異文化理解を目標とします。

内容

以下の研修先で英語集中講座に参加します。(ただし、最少催行人数に達しない場合は中止する場合があります。)

アメリカ英語研修： ハワイ大学マノア校(オアフ島)

約4週間のプログラムで、ホームステイをします。また、希望により周辺への小旅行もあります。

新年度が始まるとすぐに説明会がありますから、興味のある人は出席をしてください。詳しくは国際交流センターにお問い合わせください。

評価

出発前に毎週オリエンテーションが行われます。このオリエンテーションに必ず出席しなければなりません。この出席状況と現地で行われる英語集中講座の成績をもとに評価します。

オリエンテーションに対する積極的参加(30%) 研修先での成績(70%)

60点以上を合格として、2単位が与えられます。

授業外学習

【事前予習】オリエンテーションやガイダンスなどに必ず出席すること。

【事後学修】報告会に向けて資料を作成すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

オリエンテーションで毎回資料を配布します。この資料をもとに出発までの準備をします。

科目名	比較文学		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、「英米文学作品研究 」「英米文学作品研究 」、「比較文学」と関連があります。

『指輪物語』、『ゲド戦記』、『ハリリー・ポッター』、『ナルニア国ものがたり』、『ライラの冒険』など、英文学から登場したファンタジーの世界が日本でも人気を高めています。そこで、ファンタジー文学の代表作『不思議の国のアリス』を鑑賞して、子どもだけでなく大人までもひきつけるファンタジーの魅力について考え、日本におけるファンタジーとの比較をします。主に、英国ファンタジーとジブリ映画に登場する少女が冒険する物語を取り上げる予定です。また、ファンタジー世界のアニメ化、映画化についても触れながら、マンガやアニメをどうとらえるかについても考察する予定です。

学修目標は、次の4点です。 ファンタジーについて理解する イギリスのファンタジー文学の日本児童文学への影響について理解する ファンタジーの世界と実社会との関連性について理解する マンガ・アニメにおけるファンタジー的要素について理解する

内容	
1	ファンタジー文学の特徴(1)
2	ファンタジー文学の特徴(2)
3	冒険物語と英文学(1)
4	冒険物語と英文学(2)
5	『不思議の国のアリス』鑑賞(1)
6	『不思議の国のアリス』鑑賞(2)
7	『不思議の国のアリス』鑑賞(3)
8	『不思議の国のアリス』鑑賞(4)
9	英文学作品にみられるファンタジー的要素(1)
10	英文学作品にみられるファンタジー的要素(2)
11	日本における冒険物語(1)
12	日本における冒険物語(2)
13	ヨーロッパにおける冒険物語(1)
14	ヨーロッパにおける冒険物語(2)
15	ゲームやアニメへの影響

評価

レポート(30%)、試験(50%)、授業への参加度(20%)とし、総合評価60%以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】毎回授業で取り上げる作品や作者について必ず調べてから授業に臨むこと。

【事後学修】授業内での意見交換で気づいた点や疑問点について調べ、次の授業で発表できるようにしておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布します。

科目名	英語児童文学		
担当教員名	島田 美織		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The aim of this course is to give students an opportunity to read and enjoy a wide-range of well-loved picture books in English for young children. Students are expected to get main points of the story and create some activities for English learners based on the book. They will also acquire skills for storytelling through read-aloud activities in the class.

内容

The students will explore a number of popular children's books by three authors. The language, characters, topics and the story of each book will be examined by filling in charts. Pronunciation and intonation practice through storytelling will also be included in the course, as well as ways some of the stories can effectively be integrated into classes for teaching English to children.

Week 1	Orientation/introduction of the spring semester
Week 2	Major picture books by Eric Carle
Week 3-8	Analysis and storytelling of Eric Carle books
Week 9	Major picture books by Leo Lionni
Week 10-14	Analysis and storytelling of Leo Lionni books
Week 15	Reaction of the books/Wrap-up activity
Week 16	Orientation/introduction of the fall semester
Week 17	Major picture books by Arnold Lobel
Week 18-22	Analysis and storytelling of Arnold Lobel books
Week 23-25	Analysis and storytelling of Halloween books
Week 26-28	Analysis and storytelling of Christmas books
Week 29 & 30	Final presentations

評価

Evaluation will be based on participation (30%), homework assignments (20%), mid-term presentation (20%) and final presentation (30%). Excellent participation is required. Tardiness three times will equal an absence.

授業外学習

- 【事前予習】Practice reading, filling in a categorization chart
- 【事後学修】Re-read the book, review the chart

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Materials will be provided by the teacher.

科目名	英米文学作品研究		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は「比較文学」、「英米文学作品研究」と関連があります。

イギリスの文学作品は現代流行しているアニメや漫画と言った分野にも影響を与えていますが、それらには必ずと言っていいほどイギリス人の日常生活に深く浸透している「ユーモア」のセンスが盛り込まれています。「ユーモア」のセンスはイギリス人にとって人格を形成する上で不可欠な要素のひとつと考えられているようです。日本で言う笑いを誘う「ユーモア」のセンスとイギリスの「ユーモア」はどのように違うのか、絵本、小説、演劇、映画、コメディなどを通して考えていきます。

イギリス人特有の「ユーモア」を理解することで、映画や文学に対する理解が深まるだけでなく、皆さん自身の人生をより楽しく生きるヒントが得られるはずです。児童文学作品を含めて英国文学作品を中心に扱いますが、現代のイギリス映画やコメディ番組にも触れていきます。

映画や演劇を通してイギリス人特有の「ユーモア」を理解することで、英国文学作品だけではなく英語文化圏に対する理解をより深めることを目指します。

内容	
1	ガイダンス
2	「ユーモア」の定義
3	英国の「ユーモア」と日本の「ユーモア」(1)
4	英国の「ユーモア」と日本の「ユーモア」(2)
5	紳士階級の「ユーモア」
6	英国コメディ「ミスター・ビーン」における「ユーモア」
7	イギリスのコメディ番組における「ユーモア」と文学作品における「ユーモア」(1)
8	イギリスのコメディ番組における「ユーモア」と文学作品における「ユーモア」(2)
9	英国児童文学作品における「ユーモア」(1)
10	英国児童文学作品における「ユーモア」(2)
11	英国児童文学作品における「ユーモア」(3)
12	英文学作品における「ユーモア」(1)
13	英文学作品における「ユーモア」(2)
14	英文学作品における「ユーモア」(3)
15	英文学作品における「ユーモア」(4)

評価

レポート(70%)、授業への参加度(30%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業内で取り上げる作品について、作者やテーマについて調べてから授業に臨むこと。

【事後学修】授業内での意見交換で気づいた点や疑問に思った点について調べ、次の授業で発表できるようにしておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを使用します。

科目名	英米文学作品研究		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は「比較文学」、「英米文学作品研究」と関連があります。

イギリスの文学作品は現代流行しているアニメや漫画と言った分野にも影響を与えていますが、それらには必ずと言っていいほどイギリス人の日常生活に深く浸透している「ユーモア」のセンスが盛り込まれています。「ユーモア」のセンスはイギリス人にとって人格を形成する上で不可欠な要素のひとつと考えられているようです。日本で言う笑いを誘う「ユーモア」のセンスとイギリスの「ユーモア」はどのように違うのか、小説、演劇、映画、コメディなどを通して考えていきます。

イギリス人特有の「ユーモア」を理解することで、映画や文学に対する理解が深まるだけでなく、皆さん自身の人生をより楽しく生きるヒントが得られるはずです。戯曲を中心に扱いますが、現代のイギリス映画やコメディ番組にも触れていきます。

映画や演劇を通してイギリス人特有の「ユーモア」を理解することで、英国文学作品だけではなく英語文化圏に対する理解をより深めることを目指します。

内容

1	ガイダンス
2	「ユーモア」の定義
3	英国の「ユーモア」と日本の「ユーモア」(1)
4	英国の「ユーモア」と日本の「ユーモア」(2)
5	紳士階級の「ユーモア」
6	英国のコメディ番組の「ユーモア」
7	英文学作品における「ユーモア」の特徴(1)
8	英文学作品における「ユーモア」の特徴(2)
9	『ロミオとジュリエット』における「ユーモア」(1)
10	『ロミオとジュリエット』における「ユーモア」(2)
11	『ハムレット』における「ユーモア」(1)
12	『ハムレット』における「ユーモア」(2)
13	英国映画・ドラマにおける「ユーモア」(1)
14	英国映画・ドラマにおける「ユーモア」(2)
15	英国映画・ドラマにおける「ユーモア」(3)

評価

レポート(70%)、授業態度・発表内容(30%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で扱う作品について事前に作者やテーマや作品の特徴について調べておくこと。

【事後学修】授業内での意見交換で気づいた点や疑問点について次の授業までに調べて発表できるよう準備しておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを使用します。

科目名	児童英語教授法		
担当教員名	島田 美織		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

This course is for the students who took Jido Eigo Kyojuho Kiso. The aim of this course is to make students improve skills to make materials, design curriculums and teach English to young children. The students are expected to apply those skills in actual classrooms after the course ended.

内容

The students will work with textbooks (including the one they used in the previous year) and other materials which have been used successfully in Japan to develop the speaking, listening, and pre-writing skills in English. Fun and easy-to-use activities, such as games and songs to teach the skills will be reviewed and practiced, as well as basic classroom English to develop teacher confidence. Towards the end of the term the students will have an opportunity to do demo lessons in the pre-school within the same campus.

Week 1	Introduction of the course, 'get to know' activities
Week 2&3	Facilitating speaking (Lesson 8), making worksheets
Week 4	Introducing vocabulary (Lesson 9), presenting worksheets
Week 5	Beginning reading (Lesson 10)
Week 6	Presenting a story-reading lesson (Lesson 11)
Week 7&8	Teaching through picture books (presentations)
Week 9	Giving instructions (Lesson 13)
Week 10	Grouping learners (Lesson 14)
Week 11&12, 13&14	Preparation for demo lessons, actual demo lessons
Week 15	Wrap-up
Week 16	Review of the spring semester
Week 17	Eliciting responses and offering feedback (Lesson 16)
Week 18&19	Encouraging good behavior (Lesson 17), making 'Halloween' materials
Week 20	Presenting 'Halloween' materials
Week 21&22	Observe classrooms through VHS and DVD, examine teaching aids
Week 23	Guest Speaker's Day (tentative) or Pre-school Observation
Week 24&25, 26	Making 'Christmas' materials, Presentations
Week 27&28	Lesson Plan for pre-school classrooms
Week 29&30	Rehearsal& Final group presentation at the pre-school

評価

Evaluation will be based on participation (30%), homework assignments (20%) and demo-lessons(50%).

Excellent attendance is required. Tardiness three times will equal an absence.

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Teaching English to Young Learners (Compass publishing) and other materials

科目名	古典芸能の世界		
担当教員名	井上 愛		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本講義は、お芝居や音楽、アニメ・映画といった芸術・芸能に興味がある人を対象として、日本ではぐくまれた芸能を幅広く紹介することを目的とする。「伝統芸能」というと、「とっつきにくそう」と身構えてしまう人もいるだろう。しかし、現代に生きるわたしたちが、歌手の声やパフォーマーの技、そして俳優の演技に感動するように、昔の人々も華やかな衣装で踊り歌う芸能者に熱狂した。そして、それらの芸能は現代の芸能にしっかりと受け継がれている。この講義は、古今の様々な分野の芸能をDVDなどで鑑賞することで、受講者自身の観る目を養い、伝統芸能をもとに現代に芸能についても考える力を伸ばすことをねらいとする。

科目の概要

歌舞伎、落語、能・狂言、文楽など、多ジャンルの伝統芸能についての知識を得ることを通して、現代の芸能について関心を高める。なお、希望者を募り、能と狂言の鑑賞教室を一回開催することを計画している。

学修目標(=到達目標)

- 1、日本の芸能について、幅広い知識を得る。
- 2、古典から現代までの芸能者たちが演じる身体について学ぶ。
- 3、伝統芸能が現代の芸能にどのようにつながっているかについて考察する。

内容

1	ガイダンス ー日本のストリートパフォーマンス・大道芸
2	ガイダンス
3	日本の「お笑い」入門 ー落語と狂言の歴史
4	日本の「お笑い」入門
5	落語編 ー日本の話芸を知る
6	狂言編 ー日本の古典におけるボケとツッコミ
7	歌舞伎の歴史
8	役者が体現するバイオレンスの魅力 ー歌舞伎・荒事について
9	優男の魅力も捨てられない ー歌舞伎・和事について
10	文楽の歴史 ー「人形」の魅力に触れる
11	「心中」を知っていますか？ ー文楽「曾根崎心中」について
12	能の歴史 ー「仮面」の魅力に触れる
13	「物狂」とは？ ー物狂能について
14	子を誘拐され、亡くした母の悲劇 ー能「隅田川」を鑑賞する
15	まとめ

評価

レポート50%、各授業の提出物30%、授業態度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】適宜、プリントなどを配布する。

【事後学修】適宜、プリントなどを配布する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書・推薦書は指定しない。授業時に適宜プリントを配布する。

【推薦書】

【参考図書】

科目名	書物の文化		
担当教員名	立木 宏哉		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年、電子書籍が普及を見せはじめ、**「本」**という文化もひょっとしたら消えてしまうかもしれません。しかし、目を昔に転じてみると、今はで見られなくなった書物の長い文化の歴史があります。いま書店で見る活字の印刷本は明治時代以後に広まったもので、江戸時代には版木に文字を彫って刷った**「版本」**がほとんどでした。室町時代以前になると、筆と墨によって一冊一冊を手で写して書く**「写本」**が書籍の基本です。この授業では、**「版本」「写本」**という、いま一般に見ることのなくなった書物をめぐる歴史や文化について学びます。

「写本」や**「版本」**の見方を知り、その種類・装丁・紙・文字・取り扱い方などを学びます。書物の歴史に触れ、実際に和本を作ってみることを通してかつての書物の文化を体感的に理解します。

かつての書物の文化を幅広く知るとともに、いま一般に見る**「本」**についての見方を考えるきっかけとする。

内容	
1	和本について
2	書物の前史と発生
3	書物の見方
4	和本の製法と種類
5	和本の製法と種類
6	出版以前と以後の歴史
7	くずし字入門
8	くずし字入門
9	くずし字入門
10	糊でつくる和本(実習)
11	糊でつくる和本(実習)
12	和本の綴じ方
13	糸で綴じる和本(実習)
14	糸で綴じる和本(実習)
15	まとめ

評価

平常の受講態度10点、授業中に提出する課題40点、学期末試験50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】毎回の授業の際に指示する。

【事後学修】ノートや配布プリントを見直して、授業の内容を復習する。機会があれば、日本美術などの展示を美術館に観

に行き、古典籍について鑑賞する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】適宜、プリントを配布します。

【推薦書】【参考図書】教室で紹介します。

科目名	比較民俗論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化に関する専門選択科目の講義の一つです。民俗文化論、日本の宗教文化と関連します。

五月五日の端午の節句、十五夜のお月見などの年中行事、あるいは綱引き行事や仮面をつけた神が訪れる儀礼、あるいは納豆や餅を食べることなど、日本独自の民俗や文化と思いついておられることがありますが、実は琉球諸島や朝鮮半島、あるいは中国内陸部などにも存在することが意外に多くあります。この講義では、視野を広げて東アジア世界(環東シナ海文化)の民俗として捉え直すことで、日本の民俗や文化の成り立ちについて考えます。

日本の民俗と東アジア世界の民俗との共通性と差異性について把握し、日本の文化の複合的な成り立ちを理解することが学修の目標です。

内容

- (1) 東アジアの中の日本という視点
- (2) 日本 的なもの・ 民俗 について
- (3) 朝鮮半島・中国の民俗学事情
- (4) 年中行事の比較 端午の節句をめぐって
- (5) 月とイモ 八月十五日の民俗
- (6) 綱引き行事 八月十五日の民俗
- (7) 東アジアの綱引き行事
- (8) 東アジアの龍蛇信仰
- (9) 年越しの来訪神
- (10) 南島の訪れるカミ
- (11) ナレズシと納豆の文化
- (12) 中国少数民族と日本の古代文化
- (13) 東アジアの基層文化
- (14) 日本文化の複合的性格
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります

評価

筆記試験7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

授業外学習

【事前予習】毎回の講義にかかわるキーワードについて図書館などを資料して調べておく。

【事後学修】講義のノートをもとに授業内容を整理し、分からないことを図書館の事典類などを利用して確認しておく。興味関心を抱いたことをさらに書物などで発展的に調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。読書レポートの対象はできるだけ購入して下さい。

参考文献：佐々木高明『日本文化の基層』（日本放送出版協会）、吉田敦彦『日本神話の源流』（講談社）など。参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	ミュージカル論		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

アメリカ、イギリス、ヨーロッパなどと同じく、日本でもダンスによるパフォーマンスが盛んにメディアなどで取り上げられる機械が多くなり、ストレートプレイよりミュージカルに対する認知度が非常に高くなってきている。東京では劇場の数も、観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきている。本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルについて学ぶ。

科目の概要

オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学ぶ。

特に音楽を中心に作品を研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとする。

ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究する。

学修目標

ミュージカルという芸術分野に関する基本的知識・内容などを勉強し教養を深めることを目標とする。

内容

17Cに始まったオペラから発展していったといわれるミュージカルを、歴史を通して年代別・作品の形態別・作曲者別の傾向を考察したり対比し、分析する。

ひとつのテーマにつき、1~3週で講義を進める予定。

ミュージカルの歴史

1930年代・40年代・50年代・60年代・70年代・80年代・90年代・2000年代

日本のミュージカルの歴史

さまざまなミュージカルの形態について

ミュージカル音楽について(原語の歌詞と日本語歌詞の比較・音の入り方などを研究)

台本・音楽・舞踊などについて代表作品の分析

アメリカの作品について

イギリスの作品について

ヨーロッパの作品について

小説からの作品について

映画からの作品について

日本のオリジナル作品について

まとめ

2~3作品を実際に観劇予定

(今年度は6月アラジン、11月リトル・マーメイドを予定)

評価

課題レポート（70%）、通常の授業態度（30%）三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合は「再試験」を行う。

授業外学習

【事前予習】授業で行う予定の作品について事前に調べる。プレゼンの準備と発表資料を作成する。

【事後学修】授業で見た作品などについての復習と、作品に関する感想文などの作成

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜に本、プリント、DVD、CDなどを紹介する。

科目名	ディズニー研究		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Walt Disney が長編アニメとして手掛けた『白雪姫』、『シンデレラ』、『眠れる森の美女』のヒロイン3部作と、現在のアイズナー体制になってから手掛けられた3部作、『リトル マーメイド』、『美女と野獣』、『ポカハンタス』のヒロイン達の話はそれらの元となったグリム童話等のなかの原作からどのようにリメイクされたかを原作を読み、その後に映画を見ることによって検討していく。

またそれらが制作された時の時代的背景、フェミニストに対する見方、価値観等の違いも探っていきたい。

学修目標

1. 長編アニメの元となった童話を熟読し、それらの話がどのように、そしてなぜリメイクされたかを理解する。
2. ポカハンタスの生涯を調べてみる。
3. フェミニストに対する見方、また価値観の時代に応じた変化を理解する。

内容

Walt Disney 時代とその後のアニメのヒロインたち

- 1週目 Introduction / 『白雪姫と七人の小人』の原作を読む
 2～3週目 『白雪姫と七人の小人』のDVD観賞。まとめ
 4～6週目 『シンデレラ』の原作を読んだ後、DVD鑑賞。まとめ
 7～8週目 『眠れる森の美女』の原作を読んだ後、DVD観賞。
 9～10週目 『美女と野獣』についてを読んだのちDVD観賞。
 11～12週目 『リトル マーメイド』の原作を読んだ後、DVD観賞。まとめ
 13～14週目 『ポカハンタス』に関する講義の後、DVD観賞。
 15週目 まとめ

評価

試験 80% / レポート 20%
 とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】前週に配布したプリントを読み、内容を把握しておくこと
- 【事後学修】鑑賞した映画の内容とプリントを比較すること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリント

科目名	宝塚研究		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、表現文化学科の芸術・文化系の選択科目として開講されている科目です。舞台芸術を通じて日本の文化を学びます。

講義では、今年、創立100周年を迎えた世界に唯一の少女歌劇である宝塚歌劇団の出発期から現在までの歴史的な流れを中心に講義を展開し、音楽表現と身体表現の特質を理解します。また、元タカラジェンヌを特別講師として迎える予定です。

学修目標は、昨今、ミュージカルへの関心が高まり、質の高い作品に接する機会がますます増えてきています。特に、宝塚歌劇は大衆性と芸術性・娯楽性の面に注目し、文藝・音楽・衣装・舞踊・演劇などのさまざまな特質を生かした表現を分析し、考察することをねらいとします。また原作のある上演作品などは、原原本との比較を試みることで宝塚歌劇を理解します。

実際に劇場に行き、観劇もします。(1回)

内容	
1	宝塚歌劇とは何か・宝塚創設100周年について
2	宝塚歌劇の歴史
3	宝塚歌劇の文化と小林一三
4	宝塚歌劇と文学作品
5	宝塚歌劇の作法と常識
6	宝塚歌劇と舞台形式
7	宝塚歌劇のお化粧
8	宝塚歌劇のポスターと経営戦略
9	宝塚歌劇の衣装(洋物)
10	宝塚歌劇の作品研究
11	宝塚歌劇の音楽表現
12	宝塚歌劇と音楽研究
13	宝塚歌劇の衣装(和物)
14	宝塚歌劇と原作
15	公演の観劇とまとめ

評価

毎講義に提出するレポート60点、期末試験40点 総合得点が60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】毎回の授業後に、次回のテーマを伝達するので内容を調べて予習してくる。

【事後学修】授業内で提示したパワーポイントの資料を整理して次回までにまとめてくる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】江藤茂博・植木朝子・加藤暁子・清水玲子・日向薫 著『宝塚歌劇団スタディーズ』（戎光祥出版）

科目名	美術デザイン		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

デザイン(Design)とは、視覚や触覚を駆使して自己表現し生活を豊かにする営みのことである。狭い意味の模様作りやイラスト作成とは異なる。さらにデザインは【視覚言語】としてのコミュニケーション(Communication)媒体でもある。

つまり非言語のコミュニケーション=Non Verbal Communicationとして重要な手段である。そうした日常性の中にある視覚的な効果や影響力について認識を新たにすることや、自らが受け手であり発信者であることを自覚することが本授業のねらいである。

科目の概要

また、デザイナーとしての専門教育を目的としていない。「人間にとって造形性は必要である」ということに視点をおき、形や色彩に関わる概念を再認識し、自らが造形することの喜びを体感することもねらいのひとつともいえる。既成概念からの離脱を図り、新たな造形性を発揮し造形的思考力を高められることを望む。

学修目標

作品の出来具合、うまい下手で評価はしない。自らの感覚を駆使し感じ考え行動する...という行為の過程で【視覚言語】の確かさと不確かさを実感することを目標とする。

内容

造形行動は物的な材料を媒体として実現するものである。

意図的な制作や構成を行う前に、物のもつ性質や可能性を直接体験を通して感受する必要がある。

そこで次のような演習から視覚的変容を体験する。

- ・錯視(=イリュージョン Illusion)の試み
- ・コンパスで構成する試み
- ・色彩と形、その相関関係の試み
- ・立体空間表現への挑戦

などを織り交ぜながら、年間演習を通して行う。

評価

主に講義内容の理解度により判断する。作品の上手い下手での評価ではない。挑戦している演習態度も考慮に入れる。(意欲的取り組み30%、スケッチブックの内容70%) 総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】すべての感覚器官が柔軟に機能するよう体調管理に努めておくこと。

【事後学修】少しでも興味を持った行動は再度体験してみること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。

推薦書については時に応じて適宜授業内で紹介する。

科目名	エッセイ入門		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

実際に文章を作成し添削を受ける授業です。

なにげなく見過ごしがちな、日常の細々とした事象に目を向け、文章というかたちですくいとることを行います。脚本家で作家の向田邦子の文章を手本として、その文体、文章構成の技術を学びながら、近代的な文章スタイルの基礎を身につけます。

独自の文章スタイルを確立していくことを学修目標とします。

内容

講義1～7：「今朝の私」を書く。

作家のエッセイを鑑賞・筆写することと、実際に自分で書いてみることを、隔回ごとに繰り返しながら、文章構成の技術や、文体のバリエーションを身につけるための基礎訓練を行います。

講義8～15：自分の視点を確立する。

毎回の課題作文を通じて、他人に読ませるための文章技術を学びます。

おもに取り上げる課題は、「季節の気配」「町並み」「ピンチ」「食べる」「寝る」「歩く」など。

その他、受講者の顔ぶれに応じて対応します。

評価

毎回提出する原稿(50%)学期末作品(各50%)。合計60%以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】教科書をよく読む。

【事後学修】自分の書いた文章を、もう一度推敲する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

向田邦子『無名仮人名簿』(文春文庫、ISBN-13: 978-4167277031)

科目名	小説研究		
担当教員名	齋藤 秀昭		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

小説の読解や小説の理論を学ぶことで、それらを自身の創作に活かすことができる。

小説を実作し、全員の作品を一冊の創作集にする。その創作集をもとに相互批評（合評会）を行う。優れた作品の中から小説の技術や方法を学び、レポートを提出してもらおう。また、小説の理論等についても学習すると同時に、卓越した日本近現代文学の作品を鑑賞・分析する試みも行おう。

小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて受講生各自の表現能力を養うと共に、全員が創作集に載せる作品を創作することで創作の技法を向上させる。また、優れた作品の鑑賞・分析を通して小説とは何かについて考えを深める。

内容

- ・受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各自の創作モチーフやテーマを優れた作品として具体化できるようにする。
- ・優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業で取り挙げ、その技法や理論を各自が自作に反映出来るような試みを実践する。
- ・自分自身で実際に小説を創作することで、文学作品に対する読解の深化を図る。さらにそれが自身の創作に再び反映するというような、相乗効果的文学理解が得られるようにする。
- ・小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り（文体）の選択等の基礎作業を踏まえた上で、実作における各自の表現技術を向上させる。
- ・プロの作家が創作した優れた作品の鑑賞と分析を行うことで、小説に対する客観的な批評尺度を身につける。

評価

- ・実際に創作した作品を提出してもらおう。また合評会での相互評価の成果もレポートしてもらおう。
- ・創作理論や文学作品を取り挙げた時には、該当作品を読解・分析し、その結果をレジュメで報告してもらおう。
- ・創作物の提出60%、授業への参加度（提出物他）40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】・小説の設定・取材・プロット・ストーリー・文体等をまとめた構想作りに励んでもらう。夏期休暇においては創作の下書きを行ってもらおうので、それ相応の執筆時間を必要とする。

【事後学修】・合評を踏まえた上で小説の改稿を行なっていくので、その場その場で改稿の時間が必要。自己の満足度によってその時間は大きく変わって来るだろう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】清水良典『2週間で小説を書く!』（幻冬舎新書、2006・11）

山田詠美『ぼくは勉強ができない』（新潮文庫、1996・3）

川端康成『乙女の港』（実業之日本社文庫、2011・10）

川上弘美『センセイの鞆』（文春文庫、2004・9）

森絵都『カラフル』（文春文庫、2007・9）

【推薦書】岡崎宏文・豊崎由美『読まずに小説書けますか』（メディアファクトリー、2010・9）、
清水良典『あらゆる小説は模倣である。』（幻冬舎新書、2012・7）など。

科目名	俳句入門		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： 創作力を養うワークショップである。近代日本文学史と関連し、詩学・短詩型文学などの技法や、日本文学における美意識や歳時記・年中行事を学ぶ。句会でコミュニケーション能力を磨きたい。

科目の概要： 現在、日本の俳句は国際 H A I K U といって、世界の 5 0 か国以上で魅力的な短詩型文学として、各国の言語で作られている。私たちも、新座の自然のなかで、現代の俳句をのびやかに創作してゆきたい。

学習目標： 第一に、最初の数時間で正岡子規以来の明治時代以降の近代俳句の歴史を簡単に学ぶ。また子規と夏目漱石の交友についても触れたい。2012年は、35才という若さでこの世を去った正岡子規の没後110年にあたったが、近年はテレビドラマや本や雑誌等、さまざまなメディアでとりあげられている。第二に、句会のやり方をマスターしてゆく。句会を通して<一座の興>を楽しみたい。また、連句も巻いてみる。第三には、最終的には、十文字の伝統的な句集である「武蔵野集」という作品集にまとう。みずみずしく豊かな感性で今を俳句に表現してゆく。

内容	
1	<はじめに> 芥川龍之介『文芸的なあまりに文芸的な』
2	エリオット『詩における三つの声』
3	<近代俳句の歴史> 正岡子規(漱石との交友)
4	<現代の女流俳人> 黛まどか『B面の恋』
5	句会
6	句会
7	句会
8	句会
9	句会
10	句会
11	句会
12	<連句の解説>
13	連句会
14	<GO句会>(学外での吟行会)
15	まとめ

評価

句会における平常点(20点)、俳句作品(80点)により評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】句会が始まったら、一週間のあいだに当季の俳句を数句創作しておくこと。歳時記を熟読して、その「季節の詞」を学んでおくこと。語彙に敏感になり、感性を磨いてみよう。

【事後学修】句会を終えて、さらに古典俳諧の作品を日本文学全集で読んだり、さまざまな日常の季節の風物や、年中行事

などに関心をもって生活すること。小説家や詩人の作品から表現を学んでおこう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山本健吉『季寄せ』（文芸春秋社）

【推薦書】東聖子編『BARROCO集』（「連句概説」あり、文學の森）

【参考図書】授業中に紹介する。

科目名	詩歌入門		
担当教員名	稲葉 美樹		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、日本文学の様々なジャンルのうち、詩歌についての基本知識などを身につけるものです。

科目の概要

詩歌の中でも、特に和歌(短歌)について学びます。日本文学において、和歌は、長い間最も重視されてきました。従って、和歌を学ぶことは、他のすべてのジャンルを知ることと関わります。この授業では、前半では現代短歌を、後半では古典和歌を読んで、和歌全般についての理解を深めます。

学修目標

以下の3点を目標とします。

和歌とはどのようなものなのかを理解すること。一口に和歌といっても多様ですので、なるべく多くの作品に触れ、トータルで捉えられるようになることを目指します。また、古典和歌では様々な技法が用いられますので、和歌を理解するために必要な知識を身につけます。

和歌を味わうことができるようになること。正しく解釈するだけでなく味わうことを目指し、授業中にそれぞれの考えを述べてもらいます。

和歌に関連して何かを表現すること。自分で短歌を作ってみたり、授業で学んだ和歌を絵にしてみたりします。

内容

1	和歌を題材にした小説を読む
2	現代の女性歌人の短歌を読む 俵万智・柳原白蓮らの作品を鑑賞する
3	近代の女性歌人の短歌を読む 与謝野晶子の作品を鑑賞する
4	現代の男性歌人の短歌を読む 寺山修司・北原白秋の作品を鑑賞する
5	近代の男性歌人の短歌を読む 石川啄木の作品を鑑賞する
6	俳句と比較する 正岡子規・黛まどか・小林凜の作品を鑑賞する
7	前半のまとめ
8	古典和歌に触れる(1) 『百人一首』のカルタ取りをする
9	古典和歌に触れる(2) 『百人一首』の平安時代前期の歌などを鑑賞する
10	古典和歌に触れる(3) 『百人一首』の平安時代中期の歌などを鑑賞する
11	古典和歌に触れる(4) 『百人一首』の平安時代後期の歌などを鑑賞する
12	古典和歌に触れる(5) 『百人一首』の鎌倉時代の歌などを鑑賞する
13	短歌を作る
14	後半のまとめ
15	和歌を絵にする

評価

提出物(絵・自作の短歌の2点)20%、筆記試験(2回)80%とし、総合評価60点以上を合格とします。合格点に満

たなかった場合は、再試験をします。

授業外学習

【事前予習】次の授業で取り上げる歌人やその作品について調べ、自分なりの考えをまとめてみましょう。30分程度を目安とします。

【事後学修】ノートを見直し、疑問点について調べ、必要があれば次の授業で質問しましょう。授業中に紹介した参考文献をなるべく多く読んでみましょう。30分～1時間程度を目安とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、適宜プリントを配布します。

参考文献は授業中に紹介します。

科目名	毛筆書道		
担当教員名	鈴木 慈子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格・・・<墨の香り>たまたまよう教室で、紙に向かい一心に筆を運ぶ。実技中心の科目です。

中学校教諭二種免許状「国語」取得に必要な科目でもあります。

科目の概要・・・書道を学ぶ上での基礎体力作りは、古典の名品の「臨書」です。漢字は、「中国唐時代の楷書」、王羲之の行書「蘭亭序」などを手本とします。草書や隷書の臨書、日本独自の仮名の学習も行います。それと並行して自分の書きたい語句を「創作」する時間を設けます。個々の書道経験を大切に、丁寧な添削を加えながら進めます。

学修目標(=到達目標)・・・筆の扱いに慣れ、いろいろな書体が書き分けられることを目指します。漢字や仮名の成り立ちや歴史を学びます。自分の思いをこめた作品の制作を目指したり、社会人となっても必要な実用書を習得します。

内容

<前期>

1. 前期授業の進め方について 各自の書道歴の聞き取りをする。
2. ~ 5. 書道用品の使いかたについて 「楷書の臨書」 楷書で名前を書く。
6. ~ 7. 「楷書創作作品」の制作
8. ~ 9. 「行書の臨書」 行書で名前を書く。
10. ~ 11. 「行書創作作品」の制作
12. 「暑中見舞いはがき」を筆で書く。 顔彩を使い絵も描こう。
13. ~ 14. 「般若心経」を書く。 写経の由来について

<後期>

1. 後期授業の進め方について 中国書道史について
2. ~ 3. 「草書の臨書」 草書で名前を書く。
4. ~ 5. 「草書創作作品」の制作
6. ~ 7. 隷書と篆書について
8. ~ 10. 仮名文字の基礎を学ぶ。変体仮名を読めるようにしよう。
11. 「年賀状」を筆で書く。 顔彩を使い絵も描こう。 干支の話
12. ~ 14. 漢字、仮名、漢字かな交じり すべて自由に言葉を選び作品を書く。
15. 一年間のまとめ 全作品を綴じる。

評価

各課題の清書作品による評価70%、平常点30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】書道用品が揃っているか確認しておく。

【事後学修】授業で書いた課題について、テキストで歴史的背景などを読み理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）

適宜プリント配布

科目名	硬筆書道		
担当教員名	長濱 トモ子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

文字を書くことの意義を認識し、硬筆によって文字を正しく美しく速く書く技能と理論を学びます。

科目の概要

電子機器による文字の表記が多くなった現在でも、文字を正しく整えて読みやすく書くことは、正確な記録や伝達のために必要です。授業では漢字や仮名の知識や技能を身につけるとともに、アルファベットや数字の書き方も学び、実生活で役立つ「書く力」を養います。

学修目標

1. 筆記具の持ち方、姿勢、執筆のくせを直し、正しい書法に基づいて字形を整えて書けるようにする。
2. 実用書や制作品などを目的に適した書体、文字の大きさ、配置で体裁よく書けるようにする。
3. 文部科学省後援「硬筆書写技能検定」受験希望者の実力養成にも役立つようにする。

内容

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 硬筆書道の学び方 | 16. 楷書と行書 |
| 2. かな(ひらがな、カタカナ)の基本1 | 17. 芳名帳・慶弔用語 |
| 3. かな(ひらがな、カタカナ)の基本2 | 18. 掲示物1 |
| 4. 楷書の基本1 | 19. 掲示物2 |
| 5. 楷書の基本2 | 20. ひらがなの連綿1 |
| 6. 楷書の基本3 | 21. ひらがなの連綿2 |
| 7. 楷書の基本4 | 22. 漢字かな交じり文1 |
| 8. 数字・アルファベット | 23. 漢字かな交じり文2 |
| 9. 横書き | 24. 作品制作1 |
| 10. 履歴書1 | 25. 作品制作2・合評会 |
| 11. 履歴書2 | 26. 年賀状1 |
| 12. エントリーシート | 27. 年賀状2 |
| 13. 行書の基本1 | 28. 封筒・手紙文1 |
| 14. 行書の基本2・合評会 | 29. 封筒・手紙文2 |
| 15. はがき(暑中見舞) | 30. まとめ |

評価

毎回の提出物(清書・作品)及び提出課題6割、平常点4割とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】示された次回の授業予定内容を、テキストで予習しておくこと。

【事後学修】1.学んだ内容を実生活で活かせるよう、繰り返し練習すること。

2.課題にはきちんと取り組み、提出すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】・長濱香陽（トモ子）『もっと美しく ペン習字』明誠企画（株） 購入については開講時に指示する。

・適宜プリントを配布する。

【推薦書】狩田巻山『ペン字精習』上・下 日本習字普及協会

【参考図書】江守賢治『楷行草 筆順・字体字典』三省堂

高田・大久保・長尾・宮崎（共著）『ペン習字三体』 日本習字普及協会

科目名	サブカルチャー論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義では、既存の社会学や政治学や文化論を批判することによって一九七〇年代以降イギリスで発展してきた「カルチュラル・スタディーズ」の理論と分析の基礎を学びながら、現代文化としてのサブカルチャーについて検討していく。対象とするのは、ヒップホップやR & Bなど(音楽)、ファッション、ライトノベルやウェブ小説など(文学)、お笑いや韓流ドラマなど(テレビ番組)、W杯やオリンピックなど(スポーツ)、携帯電話やSNSなど(インターネット)といったさまざまなサブカルチャー領域であり、これらの具体的な現象を丹念に調査・観察することを通じて、現代社会における文化の機能と役割、私たちの生活において文化が持っている意義などを探っていく。前半は理論について講義と文献輪読をし、後半は、グループに分かれてフィールドワークを行います。

内容

1. サブカルチャー論とはなにか?
2. サブカルチャーを分析するための理論(1)世界のサブカルチャー
3. サブカルチャーを分析するための理論(2)日本のサブカルチャー
4. サブカルチャーを分析するための理論(3)スタイルと実践
5. サブカルチャーを分析するための理論(4)プリコラージュとDIY精神
6. サブカルチャーを分析するための理論(5)人種とジェンダー
7. サブカルチャー調査のための計画を立てる(1)
8. サブカルチャー調査のための計画を立てる(2)
9. サブカルチャーの調査と観察(1)
10. サブカルチャーの調査と観察(2)
11. サブカルチャーの調査と観察(3)
12. サブカルチャーの調査と観察(4)
13. サブカルチャーの調査と観察(5)
14. 合同研究発表会
15. まとめ

評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】調査のプラント準備
- 【事後学修】集めてきた資料やインタビューの整理

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書

佐藤郁哉・フィールドワーク〔増補版〕・新曜社

その他、必要な文献については授業内で適宜、説明する予定です。

科目名	マンガ文化論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

戦後日本の代表的なポピュラー文化として、マンガとアニメーションは相互に影響を与え合いながら発展してきました。その結果、マンガやアニメは、「ソフト・パワー」として現在日本の産業を支える重要なコンテンツになっています。日本ではどうして、こんなにもマンガとアニメが普及したのでしょうか？ その歴史的な文脈を探りながら、わたしたちの社会や文化、日常生活の中でマンガとアニメが果たしてきた役割を、文化社会学的な視点から考察します。そのために、広く社会学、歴史学、文化研究、メディア論、表象論、文学理論など、分析のために役立つ理論や方法論を毎週の講義を通じて紹介していきます。最終的には、受講者が実際にレポートなどを作成する際に使えるような知識を学んでもらうことが本講義の目的となります。また、製作現場が実際にはどのように展開されているかを学んでもらうために、実際にマンガやアニメーションの製作に関わっている特別講師の方を招いて特別講義をしてもらうことになっています。

内容

1. ポピュラー文化としてマンガとアニメをどう考察するか
2. 戦後マンガの歴史(1) 手塚治虫が開いた世界
3. 戦後マンガの歴史(2) 少年マンガの世界
4. 戦後マンガの歴史(3) 少女マンガの世界
5. マンガと表象(1) ジェンダーの視点から
6. マンガと表象(2) 恋愛の視点から
7. マンガとその製作現場 特別講師の授業
8. 戦後アニメの歴史(1) テレビアニメの世界
9. 戦後アニメの歴史(2) SFアニメの世界
10. 戦後アニメの歴史(3) アニメ映画の世界
11. アニメと表象(1) ハイブリディティの視点から
12. アニメと表象(2) テクノロジーの視点から
13. アニメとその製作現場 特別講師の授業
14. 「クール・ジャパン」現象を再検討する
15. まとめ

特別講師の講義日程によって、順番については多少の変更があります。

評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】教科書の指定された場所を読んでおくこと
- 【事後学修】授業で配布された資料などをノートにまとめておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書

津堅信之・アニメーション学入門・平凡社新書

推薦書

大塚英志 + ササキバラゴウ・教養としての まんが・アニメ

米沢嘉博・戦後少女マンガ史 ・ちくま文庫

その他、必要に応じて、授業の中でテキストとプリントを配布します。

科目名	アニメーション		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 1年次の情報処理演習を踏まえて、そこで習得したコンピュータのスキルをさらに発展させることを狙う。それゆえに、1年次の情報処理演習の授業に関心があること必要である。

科目の概要 まず、アニメーションに対して、心理学的な考察、物理学的な考察、数学的な考察を行う。それらを踏まえた上で、サウンド、写真などを盛り込んだ、アニメーションを作成する。特に、題材としては、「言葉」「文学」に焦点をあてて、作品を作成する。

学修目標 わかりやすく表現する方法としてのアニメーションの特性を理解する。コンピュータのスキルを発展させる。表現への興味、関心を高める。コンピュータのスキルを高める。

内容

1	オリエンテーション
2	人間に連続的に見えるアニメーションの原理について、視覚心理学的な考察を行う。
3	アニメーションにおいて欠かせないサウンドについて、聴覚心理学的な考察を行う。
4	アニメーションの技法において重要な、視聴覚の相互作用について考察を行う。
5	物理学的な考察 色、音を扱うために、その初歩を学ぶ。
6	数学的な考察 3次元空間に関する「感覚」が必要である。その感覚を養う。
7	教育学的な考察 アニメーションを作成するために、教育的に適切な分野は何か考察する。
8	ペイント系ソフトウェアの基本的な学習
9	ドロー系ソフトウェアの基本的な学習
10	映像系ソフトウェアの基本的な学習
11	映像系ソフトウェアの応用的な学習 特に画像系ソフトウェアとの関係からの学習
12	音声系ソフトウェアの基本的な学習
13	音楽系ソフトウェアの基本的な学習
14	アニメーションの作成 教育的な目標を設定し、簡単なアニメーションを作成する。
15	まとめ

評価

提出してもらったレポート、作品(15点)を、150点満点(15×10点満点)で計算し、90点以上を合格とする。

授業外学習

事前準備 テレビ、映画に限らず、雑誌、CMなど、気になる表現へ一層の注意を払っての観察。1時間

事後学修 自分の作成したレポート、作品と他者のものとの比較を行う。1時間。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 プリントを配布

推薦書かつ参考図書 CGWORLD スマートイメージ(編)CG 映像しくみ事典 ワークスコーポレーション

科目名	マンガ表現		
担当教員名	鈴木 富雄		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本で発展した「漫画文化」の源流から今までの進化を検証し、また、自身も実際に描いてみることを体験し、「漫画」とはいかなるものかをつかんでいく。「ジャパंकール」の要となる「漫画」は、なぜ日本でのみ発達したか、併せて日本の文化、風習を見つめ直し、漫画発生の歴史と、電子書籍までつながる漫画の歴史、未来を考察していく。

科目の概要

漫画の歴史。表現方法の変遷。実技などの知識と実践を通じて、制作の変化、画材、技法の進化を学ぶ。また、近年の電子書籍に対応したデータ入稿の仕組みを解説し、肉筆から、印刷、データ入稿までを体系的に学ぶ。技量は実際に描くことで学ぶ。

学修目標(=到達目標)

漫画についての、知識の充実。歴史、著作権など基本的な出版知識を含めた、総合的な漫画の知識の充実をはかる。漫画を描くための知識、実技(テクニック)の習得、知識。

主に模写をし、肉筆画を制作することで、現実の漫画制作の一端を知る。進行状況によっては、8~16ページの短編をグループ制作して、現実の漫画を作る工程を学ぶ。

内容	
1	マンガについての簡単な歴史、古代から近代、現代までの歴史。
2	実践。模写。好きな作家の単行本をもちより、漫画を描く第一歩の模写を始める。漫画の基礎。
3	模写。好きな漫画の1ページを模写することによって、描くことに慣れる。
4	オリジナルキャラの作成。模写から自分自身のキャラへの移行
5	オリジナルキャラの完成。好きな作家の影響の受諾、排除などの自己の漫画の確立。
6	そのキャラを使って、文章やラフで話を作る。表現方法は自由(ネーム作成)。
7	ネーム完成。講評会。
8	作画。鉛筆描きでよいので、漫画原稿用紙に実際に作画。間に合わない生徒は自宅作業。
9	作画。4ページ~8ページの作品を作る。ただし、ペン入れなどの仕上げは各自の自由とする。
10	原稿作成。自宅作業も終了。
11	ポストカード作成。着色してみる。画材は各自任意。
12	オリジナルキャラによる、B4版漫画イラスト作成(漫画による自分の作品のPR)。
13	イラスト作成終了。(モノクロ、彩色は任意)。
14	著作権の範囲、印刷の常識など、漫画周辺の知識。
15	作品の批評。作品制作、批評会を繰り返し生徒の知識、技術を図りながら年間を通じて行なう。

評価

知識、技能(必ずしも高技能というわけではなく、応用、知識として持つ)を重要視し、それに平常点を加えたのち総合評価60点以上を合格とする。技能5、授業の取り組み方3、授業態度2の割合で評価する。

授業外学習

【事前予習】漫画のページの模写を授業で行いますので、その選択と模写を始めておいてください。

【事後学修】漫画は描けば描くほど上達する。授業中に終了しない課題は自宅で仕上げること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】インターネット上に詳しい描き方がアップされていますので、それを使用

【推薦書】ありません。

【参考図書】インターネットによる参考事例が多数掲載されているので、必要ありません。

科目名	映画英語		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、映画を通して英語の4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)を高める科目です。

映画『プラダを着た悪魔』を観ながら、自然な英語表現や日常会話で使えるフレーズなどを学習していきます。また、最近の映画のワンシーンもいくつか取り上げて、若者の間で流行っている言葉や英語文化圏の習慣や風習などにも触れていく予定です。

学修目標は、日常頻繁に使われるフレーズや語句を身に付けて使いこなせるようにすることと、英語文化圏の風習や習慣について理解を深めることです。

内容

1回の授業で1Unitずつ進む予定です。テキストにDVDが添付されていますので、各自で予め映像を見て予習をしてから授業に臨んでください。

1	ガイダンス
2	Unit1: ミランダの面接
3	Unit2: アンディ、ランウェイに初出勤
4	Unit3: すべてはミランダの手の中に
5	まとめ1
6	Unit4: アンディの劇的な変身
7	Unit5: アンディ奇跡を起こす
8	Unit6: アンディ株上昇
9	まとめ2
10	Unit7: アンディのジレンマ
11	Unit8: パリでの初日
12	Unit9: 陰謀
13	Unit10: 最後の選択
14	まとめ3
15	総復習

評価

レポート(20%)、筆記試験(70%)、授業態度・発表内容(10%)、三分の二以上出席することで評価を受けることができます。総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】各単元について必ず事前に問題を解いてから授業に臨むこと。

【事後学修】授業内で習得した表現について、次の授業で確認するので必ず復習をして覚えるようにすること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】神谷久美子/Kim R. KaneI著，映画総合教材ブラダを着た悪魔，松柏社

科目名	音楽英語		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、ポピュラーなジャズを取り入れ、リスニングの力や理解力の増強を図り、またそれと同時に、それらの歌を唄うことによって楽しみながら正しい発音及び英語特有のリズムを学び、身につけることを目指します。

さらにそれらの歌に関することを読んだり、映像を観賞し、時代的背景も学んでいきます。

学修目標

1. リズムと発音の関係を理解する。
2. 英語のリズムを習得する。
3. リスニングの力をつける。
4. 歌の背景を学ぶ。

内容

1	Introducttion. Learn English through jazz and pops.
2	Fly me to the moon
3	Fly me to the moon
4	When you wish upon a star
5	When you wish upon a star
6	Autumn leaves
7	Autumn leaves
8	まとめ DVD観賞
9	Misty
10	Misty
11	I left my heart in San Francisco
12	I left my heart in San Francisco
13	All of me
14	All of me
15	まとめ DVD観賞

評価

試験 80点、授業貢献度 20点

60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前週に指示された歌詞を読み意味を理解しておくこと

【事後学修】発音、イントネーションに気を付けながら、歌詞を読むこと

【教科書】

Learn English through Jazz and Pops

Kinseido

Mothergoose print

科目名	ファッション英語		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

The aim of this course is for students to be able to talk about clothing, design and fashion. Another aim is to raise the students' awareness of how we consume and to encourage students to be creative and think of solutions to recycling used clothing. Finally they will learn to present themselves and their work to other people.

内容

The course will be divided into four sections. The first section will be learning basic vocabulary for talking about clothing, textiles and designs. The second section will be a research project, which students will present to the class. The third section will be about constructing new clothes, designed by the students, and made from used clothing. The final section will be the presentation of a live catwalk show.

1	Learning textiles types, color names and how to read labels.
2	Learning design and pattern names, adjectives to describe styles.
3	Choosing a designer for a poster presentation.
4	Research the designers for the poster presentation.
5	Making posters.
6	Poster presentations.
7	Fashion, consumerism and ecology.
8	Clothing exchange. Verbs used in construction of clothing.
9	Design layouts and diagrams.
10	Clothing construction.
11	Clothing construction.
12	Preparation of texts and diagrams for fashion show.
13	Making groups and choosing music for fashion show.
14	Rehearsal for the fashion show.
15	Fashion show.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Students will be examined on their research and poster presentation - 20%, their style sheet - 20%, their performance in the fashion show - 20% and the clothing they produce - 40%. If you dislike sewing, drawing and making things, do not take this class.

授業外学習

【事前予習】 Students are expected to find old clothing and bring it to school for remaking.

【事後学修】 Students will do research on the internet about eco-fashion companies.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

There is no text for this course.

科目名	幻想文学論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学に関する専門選択科目の講義の一つです。近現代文学論や民俗文化論と関連します。

みなさんは「幻想文学」と聞いてどのような文学作品を思い浮かべますでしょうか。荒涼とした古城に夜な夜なあらわれる亡霊、異世界からの来訪者、現実とは思えない幻想的なモノたちをめぐる物語…。もっとも「文学」を人間の観念による営みと考えれば、「文学」はなにがしかの幻想に基づいているということもできます。「幻想」とはどのようなものをさすのでしょうか。

この講義では、「幻想文学」とはどのような特徴を持つ文学なのか、を考えながら、幻想文学の作品を読み解きます。具体的には、西洋的な近代小説とはやや遠いところに位置づけられる、声や身体による伝承と深くつながりを持ち、民俗的な想像力を豊かな土壌として生み出されたと考えられる文学作品を扱います。

近代的な文学概念をふまえ、文学史的な幻想文学の位置づけを理解し、民俗的想像力と近代の文学の関係を把握することが学修目標です。

内容

- (1) 文学と民俗学と想像力
- (2) 幻想文学とは何か(その一)
- (3) 幻想文学とは何か(その二)
- (4) 日本の幻想文学の系譜(その一)
- (5) 日本の幻想文学の系譜(その二)
- (6) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い(その一)
- (7) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い(その二)
- (8) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語(その一)
- (9) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語(その二)
- (10) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓(その一)
- (11) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓(その二)
- (12) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (13) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (14) 近代文学と民俗的想像力
- (15) まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

レポートまたは試験 6 割、授業時の小レポート・提出物など 4 割の配分とし、60 点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】授業でとりあげるテキストを事前に読み、語句を調べるなどして内容を把握しておく。

【事後学修】講義内容をまとめ直し、不明な点を辞書類を利用して調べておく。興味関心をもったことから発展させて調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	メディア表現論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 「表現」についての考察を、実際に「表現」する行為を通して、その「表現」に使用する素材研究であるメディア(媒体)との関係を知識として手に入れる。そうした創作からはじめることで、問題の発見や解決、プレゼンテーション能力を高めるための演習科目。

科目の概要 コラージュ作品の意味と位置づけを、現代芸術、精神分析学、表現論からの概説で基礎知識を手に入れ、さらに各自作品創作の技術習得と自作のプレゼンテーションを行ってもらう。

学修目標(=到達目標) コラージュ作品を作成するとともに、表現の意味と構造、表現とメディアの関係、を知識として手に入れ、プレゼンテーション能力を身につける。

内容	
1	美術史におけるコラージュ表現概観
2	コラージュという表現の意味
3	現代思想におけるコラージュ/プリコラージュという考え方
4	メディア論とコラージュ
5	精神分析とコラージュ療法
6	言語表現のコラージュ性(文芸)
7	映像表現のコラージュ性(テレビドラマ)
8	映像表現のコラージュ性(映画)
9	雑誌でコラージュ作品を創る
10	クリスマスカードの記号性とメディア
11	コラージュ作品制作(クリスマスカード)
12	コラージュ作品制作(材料と表現特性)
13	コラージュ作品制作(主題と表現)
14	コラージュ作品完成
15	まとめ 作品発表会とプレゼンテーション技法

評価

授業内の提出物の評価を70点満点とし、小レポート30点満点を加え、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントで、授業で読んでおくことを事前に求められることがある

【事後学修】作品の制作が求められることがある

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

いずれも授業で指示する

科目名	メディアとアート		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

プロジェクトによる解説や作品鑑賞とともに、簡単な実習を行います

科目の概要

文字や印刷術、映画、コンピュータによる映像など、メディアを軸に表現・表象(イメージ)の歴史をたどっていきます。表現は時代背景と密接に結びついています。歴史的な背景を考慮し、時代「心」に少しでも近づけるよう展開していきたいと思っています。

学修目標(=到達目標)

人間は自分たちの環境を作り、それによって自分自身を変えていく存在だといえるでしょう。メディアによって表現がどのように変わってきたか、また思想や世界像がどのように変わってきたかを知り、現在の自分の見方、考え方をつくる手助けになればと考えています

内容

ことばと文字

文字の歴史 ヒエログリフからアルファベットへ

文字の歴史 漢字の成り立ち「白川文字学」

書とカリグラフィー 文字を使った表現

活字の発明 ゲーテンベルクから始まる書物の世界

コンピュータ時代の活字(フォントについて)

写真と映像・アニメーションについて・映画の発明

見るしくみとしての透視図法・ステレオグラム

表現された「かたち」～原始美術からギリシャ美術まで

キリスト教とヨーロッパ中世の美術

ルネッサンスの美術と思想

近代市民社会の成立と絵画

印象派とジャポニスム

世紀末のヨーロッパ アールヌーヴォーとジャポニスム

デザイナーの誕生 ウィリアム・モリスとアーツ&クラフツ運動

第一次世界大戦とダダイズム

シュールレアリスムと無意識の発見

抽象美術を読み解く(場所に潜む意味)

モダンデザインの誕生 バウハウス

身体の復権 モダンダンスとポストモダンダンス

身体の復権 「舞踏」

現代の美術

講義内容のまとめ

評価

授業への取り組み 50点、期末テスト 50点 により評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】世界史の復習をしておこう。

【事後学修】関心をもった事柄について、自分でも調べ、より深く理解しよう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】毎回プリント配布

【推薦書】「言葉とは何か」丸山圭三郎、「イメージを読む」若桑みどり、「名画の言い分」木村泰司

科目名	映像論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 映像文化論の成立と展開に、研究・批評的な観点の置き所を説明しながら、現代文化への理解を求める科目

。

科目の概要 第一部として、映像文化史のジャンル別概説。第二部として、日本のアニメーション史と映像文化。第三部として、筒井康隆の小説「時をかける少女」と映像化作品群を通した物語研究。

学修目標(=到達目標) 映像表現の物語の歴史についての知識習得と研究・批評の方法に関する理解。

内容

映像表現

1	映像表現の歴史
2	写真表現の文化史
3	漫画とアニメーション
4	映画と文学
5	テレビ文化とゲーム文化
6	出発期の日本アニメーション
7	東映アニメーションの時代
8	テレビアニメーションの登場
9	テレビアニメブームの第一期と第二期
10	ジブリのアニメ映画
11	マンガ・ゲーム・ライトノベルとアニメ
12	時をかける少女とテレビドラマ
13	時をかける少女と映画
14	時をかける少女とアニメ
15	まとめ

評価

授業への関心意欲(20パーセント)、授業内での参加度(20パーセント)、小テスト(20パーセント)や小レポート(40パーセント)での点数を合計100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】指示された小説・映像作品を読む・観る

【事後学修】指示された小説・映像作品を読む・観る

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特になし

【推薦書】授業で案内

【参考図書】授業で案内

科目名	Webデザイン基礎		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

1年次の基礎的な情報処理演習を受けて、情報発信の手段のひとつとしてWebページによる表現力を身に着ける。

科目の概要

Webページを自分でデザインし、それを実現する能力を養う。HTML言語とスタイルシートを自分で書くことにより、その仕組みを理解する。JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページをめざす。

学修目標(=到達目標)

1. ホームページの仕組みを理解する。
2. HTMLとスタイルシートを使って、Webページのデザインができる。
3. JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページができる

内容

1	HTMLの基本のおさらいと授業の進め方について
2	配色に関する基本的な考え方
3	Webページの配色の実習
4	段落の書き方
5	マージンとパディング
6	図と文章の回り込み
7	ナビゲーションの作成
8	1段組レイアウト
9	2段・3段組レイアウト
10	z-indexを使用した自由なレイアウト
11	表(table)の利用
12	ID・Classを使った統一的なデザイン
13	自由課題作成
14	自由課題作成
15	自由課題の相互評価, 課題に関する振り返りとまとめ

評価

授業への参加度20%、毎回の授業時の提出課題60%、および最終課題への取り組み20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】ネットワークフォルダに置かれている解説を読み、難解な部分をチェックしておく

【事後学修】提出課題と学習内容を再度見直し、疑問点を解消しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず，学内ネットワーク上に解説と課題を置く

【推薦書】日本工業規格、JIS X 8341-3

【参考図書】教室で紹介する

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽(音声)コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase(キューベース)ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)の世界を体験的に学習します。

科目の概要...1.DTM(デスクトップ・ミュージック)=コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2.このコンピュータミュージックではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標(=到達目標)...1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習
3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	メディア・リテラシー		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

講義形式の授業です。

私たちはいまどんな時代に生きているのか？ ずばりこんな大それた事を考えてみたいと思います。といってもむずかしい話ではありません。みなさんの身の回りにある事柄から、みなさんと「世界」とのつながりについて確認してみようということ、そして、どうしたら自分らしく生きられるか考えようというのが、この授業のねらいです。

身近なメディア現象について分析的に理解できるようになることが学修目標です。

内容

1	授業案内
2	メディアは二つの意味をはこぶ
3	我々は 状況 に囲まれている
4	メディアは意外と業が深い
5	メディアは欠落を付け足す
6	タイアップソングとブーム
7	音楽の肌触り
8	書を捨てよ、街へ出よ
9	外側の忘却
10	愛を映像化する
11	メディアとしての外国語
12	メディア社会と個人
13	メディアと物語
14	身の回りにある物語
15	総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー50点、学期末レポート50点。合計60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】特に必要ありません。

【事後学修】授業内容を改めてノートに整理すること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	福祉メディア論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

社会における表現文化の一つの場として、福祉分野におけるコミュニケーションメディアとその役割について考えます。

近年、テレビドラマや映画でもしばしば見られるようになった手話は、聴覚障害者が日常生活の中で使用するコミュニケーションメディアです。また、視覚障害者には点字というコミュニケーションメディアがあります。まず、手話や点字の成り立ちや歴史を知り、それらを日常生活の中で必要不可欠とする人々の生活はどのようなものなのか、また、これらのメディアが現代社会にどのように受け入れられているのかについて調べ、その問題点や課題について考えます。また、必要や興味があれば触れる機会の少ない障害者のコミュニケーション方法を、初歩の段階だけでも学んでみます。さらにユニバーサルデザインについても考えます。

この授業は手話や点字のコミュニケーション技術を修得することを目指すものではありません。これまで知らなかった世界を知り、社会人としての自分の生き方を、しっかりと見据える目を養うことを目標とします。相手を知ることが、自分自身を知ることにもつながることを学習し、多様な人々が暮らす社会に対する視野を広めることを目標とします。

内容

受講生が積極的に課題に取り組んで発表したり、手話や点字の実技を取り入れたりする時間を中心に授業を構成します。また、ゲスト講師による講義や、点字図書館見学などの時間を設ける予定です。

1	ガイダンス
2	聴覚障害について考える
3	手話の歴史と現状
4	トータルコミュニケーション
5	手話体験講座(ゲスト講師)
6	手話ワークショップ
7	手話ワークショップ
8	視覚障害について考える
9	点訳の歴史と現状
10	点訳体験講座(ゲスト講師)
11	点訳ワークショップ
12	点訳ワークショップ
13	ユニバーサルデザインについて考える
14	点字図書館見学(校外学習)
15	まとめ

評価

ワークショップに取り組む姿勢、学習意欲などの平常点が50点、ペーパーテストもしくはレポートが50点で、合計60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課題の調査と資料作成をする。

【事後学修】手話や点字の実技の復讐をする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは使用しない。授業で配布するプリントを用いる。

科目名	王朝文化とメディア		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会のように様々な通信手段が発達していない1000年前の王朝社会において、私たちの祖先はどのように情報を伝達していたのか、その情報伝達手段と内容について学ぶ。

王朝文化隆盛期の平安時代に、私たちの祖先は繊細で優雅な手紙の趣向を工夫し、見事なメディア文化を生み出していた。それをいくつかの古典文学を通して学びながら、現代社会と比較して考える。

私たちの祖先が育てた高度なメディアテクニックを振り返り、現代の情報化社会の中で、本当に良いメディアとは何かを考えることを目標とする。

内容

王朝時代唯一の通信メディアである手紙の種々相を、女流日記文学を中心とする作品の中から取り上げ、その作法や効果について考える。また、同時にそれぞれの作品の作者と時代についても学んでいく。

1	ガイダンス 王朝文化のメディアとは
2	蜻蛉日記 作者と作品について
3	蜻蛉日記 恋愛と結婚の文
4	蜻蛉日記 菊の折り枝
5	蜻蛉日記 様々な文
6	和泉式部日記 作者と作品について
7	和泉式部日記 恋の始まり
8	和泉式部日記 恋愛の贈答歌
9	枕草子 文具・文使いなど
10	枕草子 中宮からの文
11	枕草子 男性貴族との贈答
12	源氏物語 折り枝の贈答
13	源氏物語 風雅な趣向・悪例の演出
14	源氏物語 筋の展開に作用する文
15	まとめ

評価

平常点20点、授業中の課題30点、レポート50点で、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】余裕があれば、授業で扱う各作品の全体概要を把握しておく。

【事後学修】授業内容について疑問点がないか確認し、あれば調べておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】テキストはなし。授業は配布するプリントによる。

【推薦書】各作品個々の参考文献は数多くあるので、必要に応じて授業で紹介する。

科目名	オフィス英会話		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

実用英語系の科目になります。

ビジネスのグローバル化にともない、職場で英語に接する機会も増えてきています。海外のみならず国内のオフィスに勤務する人たちにも現在英語が必要になってきています。そのような環境に対応できるように、社交的な会話から電話対応、交渉など、ビジネスシーンでよく使われる表現や対応方法を学びます。

ビジネスの場において頻繁に用いられる語彙や表現に慣れ、ビジネス英語の基礎的な知識と技能を習得することを目指します。

内容

1	ガイダンス
2	Informal Business Communication 1 (面会の約束、予約)
3	Informal Business Communication 2 (出迎え、チェックイン)
4	Informal Business Communication 3 (ビジネスランチ、招待、依頼)
5	Informal Business Communication 4 (紹介、お知らせ、お祝い)
6	Office Conversation 1 (会議通知、報告1)
7	Office Conversation 2 (提案、報告2)
8	Office Conversation 3 (社員紹介、注目、お願い)
9	Business Negotiation 1 (送付依頼、問い合わせ)
10	Business Negotiation 2 (プレゼンテーション、交渉)
11	Business Negotiation 3 (催促、返品)
12	Jobs and Employment 1 (日時の連絡、面接)
13	Jobs and Employment 2 (選考会議、採用)
14	Jobs and Employment 3 (申し出)
15	まとめ

評価

授業への参加度15%、小テスト25%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】事前に学習する単元をお知らせしますので、練習問題などを解いて授業に臨んでください。

【事後学修】毎回、授業で習った表現の復習テストを実施しますのでモデルダイアログを必ず覚えるようにしてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Janusz Buda, Satoru Toyoda. Transactions: Real Business Conversations. 南雲堂.

【推薦書】

【参考図書】

科目名	通訳基礎		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 = 専門選択科目として卒業に必要な単位に加算されます。

科目の概要 = リピーティング、シャドーイングなどの基礎的通訳訓練を通じて、リスニング力やスムーズな発話力といった実践的英語運用能力の向上を目指します。題材は、自己紹介や簡単なスピーチから始まり、日常生活のみならず企業などで働く際に必要となるであろう状況を想定したものを扱います。また、日本語力や日本文化など、通訳をする際に不可欠な能力や知識を同時に学びます。英検3級レベルでもチャレンジできるように授業を進めます。

学修目標 = 教科書の内容に沿って、課題にじっくり取り組んでください。

内容

1	1. リスニング・パワーアップ：場面設定通訳練習
2	2. リピーティング：区切り聞き
3	3. 単語のクイック・レスポンス：クイック・レスポンス・テープ作成 / 日英通訳練習
4	4. セグメント判断：日英通訳練習
5	5. 数字のクイック・レスポンス：数字の転換練習 / 場面設定通訳練習
6	6. シャドーイング：シャドーイング課題
7	7. 頭ごなし訳のテクニック : 訳出法紹介 / 場面設定通訳練習
8	8. 頭ごなし訳のテクニック : 基本テクニック / 場面設定通訳練習
9	9. サイト・トランスレーション：日英通訳練習
10	10. リテンション練習：リピーティング練習
11	11. 内容先取り練習：文章の分析による推測 / 場面設定通訳練習
12	12. 区切り聞き : 区切り聞き練習
13	13. ミッシング・ワーズ：文脈からの推測
14	14. 通訳メモ：メモの取り方 / メモ取り通訳練習
15	15. まとめ

評価

毎回の課題(50%) 期末試験(50%)により、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】次週学ぶ内容に関して、担当教員の指示に従いシャドウイングや訳出の準備をすること。

【事後学修】本時で学んだ内容に関して、担当教員の指示に従い練習問題に取り組んだり、シャドウイングや訳出の復習をすること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】柴田バネッサ著 『はじめてのウispアリング同時通訳』 南雲堂

その他 プリント

科目名	翻訳基礎		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グローバル化に伴い、日英翻訳の機会が今後さらに増えることが期待されます。そのような中で、英語の正しい意味をとらえるためのスキルを身につけ、翻訳能力と同時に英語の文法、語彙力を向上させることを目的とする科目です。

授業では英 日の翻訳を中心に、授業ごとのテーマに沿って翻訳の練習を行います。それぞれに良い翻訳をするためには、日本語と英語の構造の違いを知り、日本人が文法で不得意とする分野を克服して、文化の違いを十分に考慮することが必要になります。それらを学びながら自分の訳を作る練習をしていきます。一つの語彙には、何通りかの訳が可能になる場合がありますので、文脈からその語彙、文の意図を汲み取ることを意識して解釈するようにしましょう。

学修目標は誰が誰に対してどのような目的のために訳すのかを意識しながら翻訳する方法を習得することです。

内容

- 1 おためし翻訳力テスト
- 2 こまめな辞書引きは基礎の基礎
- 3 彼、彼女、それ、それらのご法度
- 4 形容詞は落とし穴だらけ
- 5 時には必要、補充訳
- 6 翻訳は原文どおりに頭から
- 7 国語力への志は高く
- 8 動詞はふくみも落とさず
- 9 名詞の語訳は誤魔化し利かぬ
- 10 助動詞をあまく見るな
- 11 意外に乏しい英語力
- 12 態を転換する訳の技法
- 13 品詞転換訳
- 14 訳語がなければ自分でつくれ
- 15 全課のおさらい

評価

テスト70点、課題20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】テキスト各課のテーマについての説明を読み、授業で何を学習するのかを把握しておくこと。

【事後学修】各課のポイントを踏まえ、口頭で再度翻訳し、確認する。授業時間内に終了しなかった問題に取組み、疑問点

については翌授業で質問できるよう整理しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】金子光茂 / リチャードH.シンプソン著, 『The Art of Translation』, 南雲堂

科目名	実務英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、日常生活、ビジネスのコミュニケーションなど実務的な形で頻繁に使用される英語表現を習得し、それらを取り入れた文章や会話の理解、また発信することへの基礎の構築を目的とする。

授業では、TOEIC (Test of English for International Communication) の教材を用い、オフィス業務の背景とそれに関する関連語彙、ビジネス文書のフォーマットなどを学び、それらを使用したTOEICのリスニング、リーディングの練習問題に取り組む。

TOEIC は、仕事や日常生活におけるコミュニケーションを英語で行うことを想定して開発されたテストである。また、TOEICのスコアは社会で英語力を客観的に判断するための基準として用いられることが多い。オフィスやその他社会生活の場での、実務的な英語力をつけるべく、600点以上を目指して学習する。

内容

各授業のテーマ、オフィス業務の背景とそれに関する関連語彙、ビジネス文書のフォーマットなどを学び、それらを使用したTOEICのリスニング、リーディングの練習問題に取り組む。

スコアアップを意識した講義や練習を行うと同時に、TOEICの学習をビジネスでの実務英語に活かせるよう4技能(聴く・話す・読む・書く)につなげるための学習法を学び実践する。

1	実務英語とTOEIC U1 Daily Life
2	U2 Places
3	U3 People
4	U4 Travel
5	U5 Business
6	U6 Office
7	U7 Technology
8	U8 Personnel
9	U9 Management
10	U10 Purchasing
11	U11 Finance
12	U12 Media
13	U13 Entertainment
14	U14 Health
15	総括

評価

テスト70点、課題20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】各課の新出語彙を予習しておくこと(Check Your Vocabulary! Words in Context)

【事後学修】各課の Self-study quizzes (p.99~) に取り組む。 各課パート3、4のシャドウイングを行う。(シャドウイングの方法については、授業で指導する。) 各課の授業内で終了しなかった問題に取り組み、復習まで行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】水本篤, Mark D. Stafford, Successful Keys to the TOEIC Test 2 (2nd Edition), ピアソン・ロングマン/桐原書店

【参考図書】『TOEICテスト新公式問題集』(Vol.5) Educational Testing Service

小石裕子 『新TOEIC(R) TEST 英単語 出るところだけ!』アルク

科目名	総合英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

語彙力の底上げを図り、更に「読む・書く・聴く・話す」の4技能を総合的に訓練しながら、英語運用能力を高め、英語を駆使するためのベースを作る科目です。

授業では、基本的な文法を見直すほか、英語検定準2級～2級の試験問題を扱い、語彙力、作文力、短文やメールなどの読解力を養うべく多くの練習問題を授業内、外にて行います。また、試験問題の練習を通して英語運用能力を高めるための学習法として、シャドウイングや復習の方法の指導を併せて行います。

この授業を履修することにより、英語の語彙力、文法力、4技能の運用能力を高め、英語検定試験準2級～2級に合格できるレベルになることを目指します。

内容

授業では、基本的な文法を見直すほか、英語検定2級の試験問題を用い、語彙力、作文力、短文やメールなどの読解力、文法力を多くの練習問題を通して身につけるようにする。また、試験問題の練習を通して英語運用能力を高めるための学習法として、シャドウイングや復習の方法の指導を併せて行う。

1	オリエンテーション	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の応答	他
2	学習法	リピーティング・シャドウイング		リスニング：会話の内容把握	他
3	学習法	運用能力を高める復習法	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の応答 他
4	語彙	語の構造	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の内容把握 他
5	文法	形容詞と副詞	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の応答 他
6	文法	場所の前置詞	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の内容把握 他
7	文法	接続詞	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の応答 他
8	文法	助動詞	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の内容把握 他
9	パラグラフ・リーディングとは	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の応答	他
10	スピーキング	絵の描写・ストーリーの展開			
11	スピーキング	質問への答え方・意見の述べ方			
12	総合演習	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の内容把握	他
13	総合演習	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の応答	他
14	総合演習	筆記：語彙	長文読解	リスニング：会話の内容把握	他
15	総括				

評価

テスト70点、課題20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】翌授業での語彙テストに備え、予習しておくこと。

【事後学修】課題として指定された問題に取り組み、復習まで行うこと。（復習の方法については、授業で具体的に指導する。）リスニング練習を授業外でも繰り返し行うことを奨励する。英語力向上のため、参考図書等を用いて宿題以外の学習も自主的に行い、授業外での学習を習慣づけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業にて案内

科目名	観光英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、来日した外国人(観光客、生活者)に日本の生活習慣や文化を英語で紹介する際、英語で口頭でのコミュニケーションがスムーズに図れるよう、英語と異文化を同時に学習します。

授業では、日本において外国人旅行者や留学生と想定される場面での会話を中心に、ダイアログを聞いて理解し、学習した英語表現を口頭で使う練習を行います。履修する学生は、各授業のテーマの中で使用される表現を、聞いて理解するばかりでなく、テキストがなくても、口頭で使用できるようにすることを目標とし、学習に臨んでほしいと思います。ロールプレイではアイコンタクトをとりながらコミュニケーションをとることを心がけましょう。

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

1. 外国人旅行者、生活者を助け、日本の文化、習慣を英語で伝えることができる。
2. 異文化を理解し、調和を保ちながらコミュニケーションをとることができる。

内容

毎回のトピックについて、海外を旅行/生活する際に必要な英語表現の練習、ロールプレイを行う。

1	ガイダンス Meeting a guest at the airport
2	Meeting someone for the first time
3	Introducing yourself
4	At the hotel
5	Receiving a visitor
6	Showing someone around
7	Describing pictures
8	Shopping
9	Answering a telephone call
10	Talking about things you like
11	Describing transportation
12	Tours
13	Describing souvenirs
14	Describing Japanese food
15	総括

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語を辞書で調べておくこと。

【事後学習】授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行い、コミュニケーションの手段として英語を伝えるよう練習すること。（シャドウイングの方法については授業内で指導する。）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Buckingham and Whitney, Passport Plus: English for International Communication, Oxford University Press

科目名	総合演習		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格： < 火事と喧嘩は江戸の華 > そんな江戸時代に成立した浮世絵は、江戸の町における人情や流行などの情報を盛り込みながら美しい色と形からなる日本独自の美術である。日本美術史、西洋19世紀のジャポニズムへの影響、歴史学、文化史、風景論などを学び、そしてテーマを設定して図書館で浮世絵図録リサーチ・アクションを行って、ゼミとして成果を上げている。

科目の概要： この演習の目的は二つある。①は、江戸時代の新しいジャンルである、浮世絵を学びながら、浮世絵の中の江戸空間 に入り込んで、江戸の美術を楽しく鑑賞し、研究することである。②は、日本と世界のさまざまに個性的な美術館・博物館を調べて、そのコレクションの特色を知り、21世紀の新しい美術館・博物館のあり方を探り、いつかそこを訪れることである。

学修目標： まず、浮世絵の成立を学び、作風の変遷をたどりつつさまざまな浮世絵師の作品を眺めてゆく。浮世絵の種類と歴史はマスターする。目標の第一は、演習形式の授業により、各自の感性にあった浮世絵師を選び、多くの資料からその人生と作品を調べて、独自のテーマでプレゼンテーションをする。ゼミの最後は、全員でディスカッションをする。第二は、好きな海外と日本の美術館について、PPを作成し、プレゼンをする。第三は、毎年メンバーの研究成果をまとめた『近世レポート』を作成している。さらに、毎年恒例の浮世絵太田記念美術館(表参道)の見学会を行う。

内容	
1	【前期】< 序 浮世絵とは >
2	< 浮世絵の概説 > 浮世絵の歴史
3	浮世絵の種類と作者たち
4	浮世絵の製作方法(DVD)
5	4~7 世界の美術館の浮世絵全集で、テーマごとにリサーチ・アクション
6	8~15 < 各自の好きな作家の作品についてプレゼン >
7	15 前期のまとめ
8	【夏期休暇】
9	日本と世界の美術館・博物館を2つずつ調査する(レポート)
10	【後期】
11	1~10 < 各自の好きな作家の作品についてプレゼン >
12	< 世界の美術館の紹介・PPでプレゼン >
13	< 浮世絵太田記念美術館の見学 >
14	< 『近世レポート』の作成 >
15	後期のまとめ

評価

評価は、平常点(10点)、レポート(40点)、演習発表と近世レポート原稿作成(50点)の

うち、総合評価の60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】図書館にある浮世絵全集を楽しんで鑑賞したり、日本の絵巻物や伝統絵画などを鑑賞してみよう。また、江戸時代の歴史や生活にかかわる書籍も読んでみよう。

【事後学修】レポーターとなった浮世絵師について、学外の図書館で参考文献を調べる。首都圏の浮世絵名品展などに行って実物の迫力に触れよう。TV・新聞・HPの展覧会記事をよく読もう。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】小林 忠監修『カラー版／浮世絵の歴史』（美術出版社）

【推薦書】『浮世絵大観』『浮世絵聚華』

【参考図書】授業で紹介する。

科目名	総合演習		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

『源氏物語』には主要人物だけでも30名を数える人物が登場しています。見事に描き分けられたそれぞれのキャラクターが、物語の中で絡み合うことによって、普遍的な人間心理が描き出されている作品です。永遠のヒーロー光源氏をはじめ、魅力的な様々な女性たち、そして作者紫式部と出会う楽しみを、原文を基礎として、様々なメディア作品にも触れつつ堪能していきたいと思います。

『源氏物語』を登場人物に即して読んでいきます。受講生がそれぞれ担当する人物を決めて、資料を調べ、授業で紹介します。また、担当者以外の受講生は、発表を聞いた後に自分なりの見解や感想を述べ、お互いに学び合います。

文学作品を登場人物に沿って読むだけでなく、それぞれの人物の性格や人生について詳しく調べ、より深い物語理解を目指します。作者が試みた人物造型の意味を各自がとらえ、自分なり物語観を得ることを目標とします。

内容

源氏物語の中から、各自が興味を持っている登場人物や平安時代の習俗について調査し、作成した資料に基づいて発表し、意見交換をして互いに学び合う授業です。講義では気づかなかった様々な発見があり、源氏物語の読み方がそれまでとは変わって、より身近に感じられるはずです。

前期の数回は講義や視聴覚資料によって作品についての概要を学びます。漫画や映画など、様々なメディアに読み替えられた『源氏物語』についても積極的に取り上げていくつもりです。

最後に、各自が好きな登場人物を選んで、研究レポートとしてまとめます。

第1回目 ガイダンス

第2回目～5回目 作者・作品についての概説

第6回目以降 研究発表と意見交換

後期後半 源氏物語で楽しむ(オプション)

発表は人物紹介については各自が2回以上行い、

その他、討論のテーマを提出して取りまとめる役にもなります。

最後にまとめとして、最終レポートを提出します。

評価

授業での発表内容が40点とレポートが60点で、60点以上を合格とします。

なお、最終レポートの提出は単位取得の絶対条件とします。

授業外学習

【事前予習】発表担当者は、課題の調査と資料作成をします。

【事後学修】発表後、資料内容を文章化し、最終レポートにつなげます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】新編日本古典文学全集『源氏物語』（小学館）

『源氏物語の鑑賞と基礎知識』鈴木一雄監修（至文堂）

『人物で読む源氏物語』（勉誠出版）

その他、源氏物語関係の書は多数あるので、授業で適宜紹介していく。

科目名	総合演習		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

2年生の専門必修科目です。学生各自の調査にもとづく発表と討議による演習形式により主体的な学習態度を身につけます。

「霊柩車を見たら親指を隠す」「夜、爪を切らない」というタブー・迷信が今でも意外に信じられていることに驚くことはないでしょうか。あるいは河童などの妖怪は信じられなくなってきているとはいえ、口裂け女や学校の怪談などの怪奇な話は繰り返し再生するのはなぜでしょう。私たちがふだん何気なく行っているさまざまな暮らし方や習慣のなかに、実は、日本的なものの見方や考え方が潜んでいます。この演習では日本の伝承文化の世界を探ることを通して、日本的なものや、わたしたち自身のありかたを問い直します。

調査・発表の技術を身につけ、伝承文化の概念を理解し、日本的なものについて理解を深めることが学修目標です。

内容

学生の発表と討議による演習形式を中心とします。発表者は担当部分について資料・参考文献を調べ、発表用資料を作成し、それにもとづいて発表を行い。その後、参加者全員で討議していきます。前期の最初の数回は、講義形式で資料・参考文献の調査の方法、伝統社会や民俗学の概要について説明を行ったうえで担当を決定します。

年間のスケジュールは以下の通り。

(1) 授業計画説明

演習担当の決定・調査の手順・発表資料の作成手順・参考文献の解題

(2) 前期演習

出席者と相談の上で以下の二案のどちらかに決定します。

伝承文化のなかから各自の興味・関心のある分野について概説的な発表を行う。

例としては、[通過儀礼(誕生・出産・葬制・墓制・祖先崇拜など)、年中行事(正月・農耕儀礼など)、まつり・民俗芸能、口承文芸(昔話、伝説、民謡、童謡、世間話、都市伝説など)、民間信仰(俗信、妖怪、まじない、のろいなど)、衣食住、民具など]。

『現代の民話』『遠野物語』に描かれた伝承世界を分担して発表する。

(3) 後期演習

前期の発表からさらに各自のテーマを絞り込み、レポートでの文章化を前提に発表する。

評価

演習の担当部分の発表4割、レポート4割、質疑応答などの平常点2割とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】前期：講読する書籍を毎回該当部分を読み自分なりに問題点を把握する。後期：発表者のテーマについて自分の問題意識で調べておく。

【事後学修】前期：授業内で解決しえなかったことなどを調べる。後期：発表・討議の内容から自分の関心・興味に関わることを調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。授業中、講読することが決まったテキストは購入して下さい。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	総合演習		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 = 必修科目として卒業に必要な単位に加算されます。

科目の概要 = アメリカ合衆国の歴史や社会、文化などについて総合的に学びます。

学修目標 = アメリカ合衆国についての理解を深めるとともに、日本についてもこれまでと異なった視座で考えます。

内容

テーマ：アメリカ合衆国と日本

担当：福田 仁

アメリカ合衆国は、現在の日本にとっては最も関わりの深い国と言えます。この演習では、この国の歴史、そこに住む人々、社会、文化、習慣など様々な側面について、日本との関係にも目を向けながら理解を深めたいと思います。

前期には、担当教員による講義や、映画を含む映像などを通してこの国を概観します。後期には、受講学生がそれぞれテーマを選び、その発表を中心に授業を進めたいと思います。テーマはファッションや音楽、スポーツ、観光、料理など身近なものでも構いません。

この演習を通して、これまで描いていたイメージとは違うアメリカ合衆国が浮かび上がってくると思います。また、日本や日本人に対する理解も深まると思います。形式にとらわれず、柔軟な発想で、楽しい演習にしたいと思います。

評価

レポート(50%)、プレゼンテーション(50%)で、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前予習】次週学ぶ内容に関して、担当教員の指示に従い、教科書の指定箇所を熟読しておくこと。また、発表に関しては資料を整えること。

【事後学修】本時で学んだ内容に関して、担当教員の指示に従い、新聞・雑誌・Webなど教科書以外の資料を利用し理解を深めること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】池上彰著 『そうだったのかアメリカ』集英社文庫

科目名	総合演習		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

テーマ：「自分自身を語る表現力を磨く」

科目の性格：「気付く力」「直観力」を伸ばす。個性を大切にし、自分の持ち味を表現する。

概要：短期大学の学生として、2年目の生活を迎える皆さんがこの2年間で、「これをやった」と自信を持って人に伝えられることを体験してもらおうことがねらいです。

学習目標：この授業を終えたら、卒業や進学や就職に進む方が多いと思います。卒業を前に、一人の女性として生きていくうえでの意識が変わり、賢く、強く、そして女性としての謙虚さを大切にする素敵な女性の卵に育つことを目標とします。

内容

目指すのは「たおやかで美しい女性」を意識しながら「自分を語る表現力」を磨いていくゼミです。

ゼミの進め方は、いろいろなテーマに沿ってそれぞれ、講義 意見交換 調査 創作の4部構成で進める予定です。ゼミの最終目標は、独自性を持った自分を表現できることです。

女性の社会進出が出来るようになり数十年が経ちます。でも、女性は男性とは同じように仕事をして丸く収まるものも収まりません。企画力・発想力があり、きちんとした意見が言えるなどの能力を求められるのは男女平等です。しかし、自分の意見を持ちながら一歩引くことが出来、気が利く女性にならなければ仕事は円滑にはいきません。強い女性とは、周りを引き立てながら賢い振る舞いが出来る人。自分の立ち位置を知り、社会や組織の中で自分が出来ることは何か。叱る人は何故叱るのか。相手の立場に立った時はどうしますか？あなたが、社会進出したとき、どうすれば組織の役に立てるか。何をすべきかを考え、答えを出せば生きるのが楽しくなるはず。 「気づく力」を養い、心から笑える毎日を送るために自分の良さを大事にしましょう。

このゼミでは、女性の真の意味での賢さを養うことを目的としています。

具体的学習は、食品・服飾の中から、各自1つの題材を選びます。たとえば、食品の産地や素材の力を調べたり、その食品から何かを作ったりするのも良いでしょう。服飾については、歴史でもカラーコーディネートでも良いですし、それぞれの売り場から流通経済や消費動向を学ぶのも良いでしょう。要は自分の知りたいことを深く追求していくこと、そしてそれを表現することから「自分を語る表現力」を磨いていきます。

1年を通じてテーマを追求することと意見交換を繰り返すことで、1年後には自分でも驚くほどの、企画力・想像力・発想力・達成感そして社会での立ち位置などの基礎知識と自信が身に付くでしょう。

1年はあっという間に過ぎますが、遊び感覚で楽しみながら体で覚えていくことこそ、自信や教養が根付き、生涯の財産になります。そんなイメージで学んでほしいと思います。

学外実習あり。

評価

平常点や取り組む姿勢、各回の発言内容等を総合評価し60%以上を合格点とします。

授業外学習

【事前予習】その都度、テーマごとの内容を発表してもらうのでその下調べ。

【事後学修】テーマを発表し、ゼミの人からもらった意見をまとめてくる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書『大学では教えてくれない大学生のための22の大切なコト』（西日本新聞ブックレット）著：佐藤剛史

各自の興味に添った各テーマに添い、世の中に流れに敏感に対応するため、新聞、雑誌を多く活用して、プリントを配布します。

その他、図書館で本を探したり、推薦図書を伝えながら進めます。

科目名	総合演習		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

年間を通じて、参加者がテーマについて調査・発表する演習です。

テーマは「世界の文化を調べる」。世界の地域文化について調べていくゼミです。1年間、ひとつの国・地域の文化と付き合うことを課題としています。「一人一言語制度」を設け、最初の回だけは、各自が自分の専門とする国・地域の言語について発表してもらいます。ただし単語や文法を覚える必要はないので、本格的な語学の勉強はしなくてもかまいません。二回目以降の発表では、それぞれの地域文化について、各自の関心にしがってテーマをしぼって調べてきてもらいます。例年、年に3～4回ほど発表の順番が回ってきます。年度末には、10枚以上のレポートを作成することが成績評価の条件となります。

特定の国・地域の文化について学ぶことで、異文化全般とのつきあいかたを理解することを学修目標とします。

内容

授業では、参加者各自が、好みの国・地域をえらび、それに関わる文物や文化について、それらの歴史や特徴、日本文化への影響など、多角的に調査のうえ報告し、全員で討論します。

年間を通じての手順は、次の通りです。

- 1：担当教員による模擬発表。
- 2：言語に関する発表（各自第一回目発表）。
- 3：文化に関する発表（各自3～4回くりかえし）。
- 4：年度末レポート作成。

1回の授業で、1～2人による発表を行います。

発表の順番は、初回の授業時に全員で相談します。

評価

議論への参加・貢献度（50%）、学年末レポート（50%）。合計60%以上を合格とします。

授業外学習

- 【事前予習】自分のテーマに即して、調査を進める。
- 【事後学修】授業で学んだことをノートにまとめなおす。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】特に指定しません。
- 【推薦図書】特に指定しません。
- 【参考図書】特に指定しません。

科目名	総合演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年		ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	総合演習		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

「ファンタジー」作品がいかに社会を鋭く映し出しているかを、作品を鑑賞しながら、探っていきます。

文学界で根強い人気を誇る「ファンタジー」と呼ばれるジャンルは、文学作品だけにとどまらず、ゲーム界や映画界にも多大なる影響を与えてきており、現代文化を理解し語る上で欠かせない要素となっています。「ファンタジー」はその荒唐無稽さ故に、我々の生きる現代社会との関わりが薄く有用性がないと思う人も少なくありません。ですが、「ファンタジー」は現実の人間社会を様々な角度から巧妙に映しとり描いています。そこで、「ファンタジー」によって社会や人間がどのように描かれていて、何が意図されているのかを意見交換をしながら探っていきます。

『指輪物語(映画:『ロード・オブ・ザ・リング』)』『ホビットの冒険』『不思議の国のアリス』『ゲド戦記』『床下の小人たち(映画:『借りぐらしのアリエッティ』)』『ピーター・パンとウェンディ』など多くのファンタジー作品を排出してきたイギリスのファンタジー物語を中心に鑑賞していきます。

「ファンタジー」の多彩な魅力に触れて、我々の生きる社会や人間への知識と理解を深め、それらの本質を見抜く力を養うことを目指します。

内容

第1回: ガイダンス

第2回: ファンタジーの定義

第3回: イギリス生まれのファンタジー作品の特徴

第4回~9回: 小人冒険物語の作品鑑賞と分析(1)

第10回~15回: 小人冒険物語の作品鑑賞と分析(2)

第16回~20回: 妖精物語の作品鑑賞と分析

第21回~25回: 原作とディズニー映画との比較

第26回~30回: 原作と宮崎駿映画との比較

評価

授業への参加度(20%)、口頭発表(40%)、レポート課題(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で取り扱う作品に関して事前にストーリーやテーマについて調べておくこと。

【事後学修】授業内での意見交換で気づいた点や疑問点についてしらべ次の授業で発表できるようにしておくこと。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	総合演習		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

着物文化研究

日本には着物という服装文化があり、長い歴史と様々な着物製作技法があります。着物とは単なる伝統なのでしょうか、それともファッションなのでしょうか？着物の文様、とは何でしょうか？着物職人はどのように着物を制作するのでしょうか？着物の良い点は何でしょうか？着物の将来性はあるのでしょうか？

演習では、このような問いに対して、現代の着物を知る事から始め、着物の歴史、着物と社会的背景、文様の原点、制作方法、着物テクノロジーについて探して行きます。皆さん、着物のすばらしさを一緒に探しましょう。

ファッション、絵を描く事が好きな学生、歴史が好きな学生はとくに大歓迎します。

内容

1	1 - 2 着物の歴史
2	3 - 4 染め物の技法
3	5 - 6 織物の技法
4	7 - 8 文様の研究
5	9 - 10 現代機ものの種類とTPO
6	11 - 12 研究テーマの最終決定
7	13 着物の専門が語る
8	14 - 15 研究テーマのプラン完成する
9	16 - 17 中間の発表
10	18 - 19 テーマの行方
11	20 - 21 テーマの行方
12	22 - 23 個人の相談
13	24 - 25 個人の相談
14	26 - 27 作品を完成する
15	28 - 30 学生の発表

評価

好きな方法で発表します。研究の熱意 30%、制作の質40%、発表の良さ30% を採点します。

総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学生が自分たちで見つけました着物情報を授業に持ってくる事

【事後学修】出来るだけ習った事を自分の経験で確かめて、event など参加してほしいです。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ありません。

科目名	総合演習		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本語を母語として育った人にとって、日本語は“無意識的”な存在である。この演習では、普段、意識して使っていない日本語を“意識的”に捉えることで、身近な日本語の構造、表現形式にみられる工夫を探る。

科目の概要

日本語に興味・関心を持ち、受講生自らがデータを収集・分析し、発表を行う。グループ作業や個人作業を通して、身近な言語現象にみられる工夫やそのメカニズム探る。

学修目標

身近な日本語に興味・関心を持ち、日本語を客観的に捉える力を身につけることができる。

内容

前期はテキストで示された研究角度に沿って、各自収集したデータに対して分析・発表を行う。夏季休業中は、発表時の質疑応答を活かしレポートを作成する。後期は夏季レポートの発表を行う。学年末には、再度レポートをまとめて提出する。なお、授業内容・スケジュールは、受講生の人数や興味・関心などに基づいて調整する可能性がある。

【前期】

- 1回目 オリエンテーション、参考資料の配付、文章・談話の分析とは
- 2回目 レジユメの作成・発表の仕方について、発表担当者の決定
- 3回目 分析の紹介
- 4回目～13回目 受講生による発表・質疑・討論
- 14回目 日本語学のレポートの書き方について
- 15回目 前期のまとめ

【後期】

- 16回目～20回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 21回目～24回目 データセッション
- 25回目～29回目 受講生による夏季レポートの発表・質疑・討論
- 30回目 まとめ

評価

平常点・討論への参加・演習への貢献度20%、発表30%、夏季レポート20%、学年末レポート30% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】身近な日本語表現に関心を持ち、研究の可能性を探る。

【事後学修】研究を支える具体例の収集に励み、自らの研究テーマを深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】高崎みどり・立川和美編(2008)『ここからはじまる文章・談話』ひつじ書房

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	日本語文法		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	日本語文法		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	日本語文法		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	日本語文法		
担当教員名	小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

科目の概要

学修目標 (=到達目標)

内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	【留学生】コミュニケーションスキルズ		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-表現文化学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

自分の意見や考えを的確に伝える口頭表現スキルを、様々な活動を通じて身につける。

科目の概要

ペアワークやグループ活動を通じて、効果的なプレゼンテーションスキルを学ぶ。また、受講者が実際にプレゼンテーションを行い、相互評価を重ねながら、各自のプレゼンテーションスキルを向上させる。

学修目標(=到達目標)

わかりやすく適切な日本語が使えるようになる。資料収集や配布資料作成、資料構成などの手順を理解する。日本語でプレゼンテーションができるようになる。

内容

1	オリエンテーション
2	効果的なプレゼンテーションとは
3	自己PRをしてみよう
4	私の好きなもの・私の好きなこと
5	資料を集めよう
6	資料を整理しよう
7	構成を考えよう
8	プレゼンテーションをしてみよう
9	相互評価をしてみよう(1)
10	プレゼンテーションを改善してみよう
11	相互評価をしてみよう(2)
12	最終プレゼンテーションの準備をしよう
13	最終プレゼンテーションをしてみよう
14	相互評価をしてみよう(3)
15	まとめ

評価

授業中に課す課題20%、授業への参加態度20%、プレゼンテーション60% とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前時に出された課題に取り組む。

【事後学修】授業中に出てきた新出語句や関連語句、わからなかった語句・表現について理解の定着を図る。授業で学んだ

ことを今後の学習に活かす。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特になし

【推薦書】教室で紹介

【参考図書】教室で紹介